

操作マニュアル



【ビューエディタ利用】編集版

Rev. 0. 96

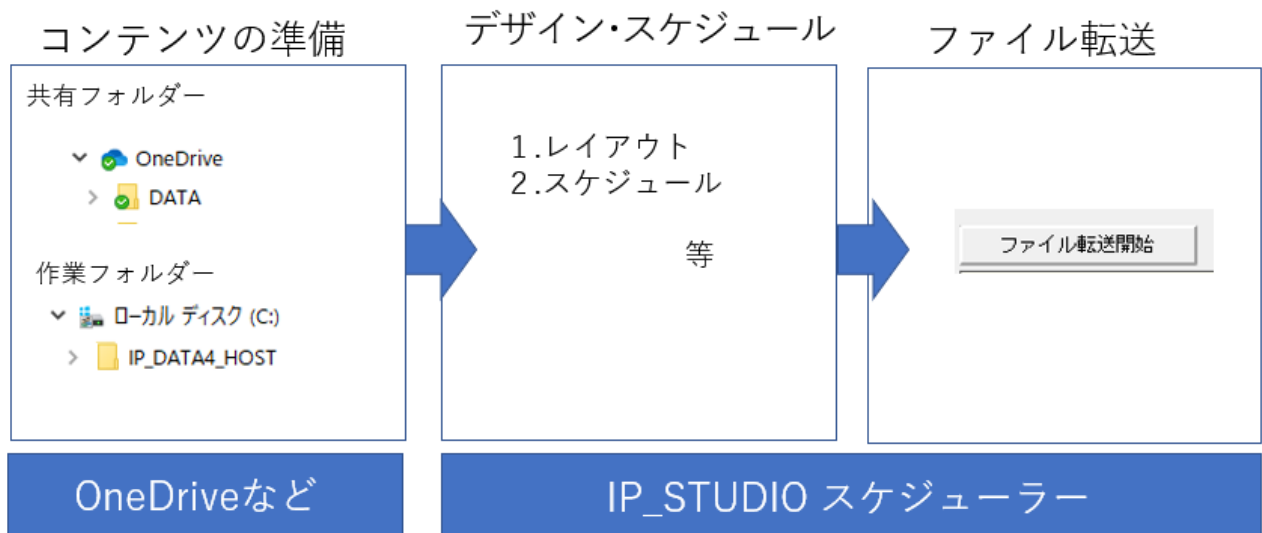
はじめに

本操作マニュアルはIP_STUDIO IVを利用しデジタルサイネージを活用していく上で参考になるように書かれています。

本書では一般的な機器構成を例について説明しています。

新しいコンテンツを作成する場合は予め共有フォルダーまたは作業フォルダーにコンテンツを準備して下さい。

基本的な運用フローは、ネットワークの準備、コンテンツの準備の後に、
各種作成・設定（デザイン・スケジュール等） → ファイル転送 が基本になります。



※共有フォルダーはクラウドストレージで設定されたフォルダー、作業フォルダーはローカルになります。どこからでも書換（更新）をする場合は共有フォルダーをご利用下さい。

※説明ではサンプル例で書いています。

※ネットワークアクセスに時間がかかる場合があります。（各ストレージサービスによります）

※Windowsの基本操作はマスターしているものとして書かれております。

※クラウドストレージについては各社の資料をご参照下さい。

※本書のシステム構成は典型的な例です。

※IP_STUDIOIVの詳しいオペレーションは IP_STUDIOIVマニュアルでも説明しています。必要な箇所などご参照下さい。

目次

第1章 システム構成（機器構成）	4
第2章 IP_STUDIOIVの起動について	5
第3章 新規作成とスケジュール作成	6
3.1 コンテンツの準備。	6
3.2 テンプレート（雛形）を利用してレイアウトデザイン	6
3.3 共有フォルダーからコンテンツを設定	12
3.4 表示時間設定調整	13
3.5 コンテンツスケジューラー（基本番組編成）の設定	14
3.5.1 サービス時刻の設定・変更	14
3.5.2 コンテンツスケジューラ（基本番組編成）の設定・変更	14
3.6 コンテンツスケジューラー（基本番組編成）の解説	15
3.7 ターミナルスケジューラー（サイネージ割付とスケジューリング）で配信日程の設定	16
3.8 アップロード（サーバーへファイル転送）	17
第4章 設定情報の確認（最新情報の確認）	18
4.1 ターミナルスケジューラーで確認	18
4.2 コンテンツスケジューラーで確認	18
4.3 デザイナーで確認	19
4.4 デザイナーでレイアウト設定の確認	20
第5章 テンプレートを利用しないでレイアウトする方法	21
第6章 IP_STUDIOを利用せずコンテンツを更新する方法	23
第7章 利用できるコンテンツ（ファイル）について	24
第8章 初期設定について	25

Appendix

IP_STUDIOオペレーションフロー	.. 26
デザイナー メニュー・コマンドの説明	.. 27
コンテンツスケジューラー メニュー・コマンドの説明	.. 28
ターミナルスケジューラー メニュー・コマンドの説明	.. 29
ファイル転送 メニュー・コマンドの説明	.. 30
メンテナンス メニュー・コマンドの説明	.. 31
モニター メニュー・コマンドの説明	.. 32

Memo（参考）

コンテンツ：デジタルサイネージで表示するファイルと表示できるすべての形式を言います。ファイルはJPEG、PNG、PDF、mp4 などです。形式はWEB です。IP_STUDIO ではコンテンツ=ファイル、データです。

フォルダー：Windows のデータを格納している場所です。フォルダーはディレクトリーという階層構造に基づき構造化され格納されています。

拡張子：Windows のファイルはそれぞれの属性を拡張子で区分しています。静止画は XXXX.JPG（JPG のところが拡張子です。）

ドラッグ&ドロップ：ファイル名等の上にマウスのカーソルをあわせ、マウスの左側のボタンを押したままの状態でも移動させます。移動させたい場所で押していたマウスの左側のボタンを離す操作です。

ロール：IP_STUDIO のデザイナーで作成したデータ、最小番組単位です。

第1章 システム構成（機器構成）

システム構成例は次のようになっております。

1. 機器構成と解像度

それぞれのサイネージ（表示装置）にはグループ名、ターミナル番号を設定します。

IP_STUDIOではサイネージを端末（ターミナル）と呼びます。各サイネージにはターミナル番号を設定します。

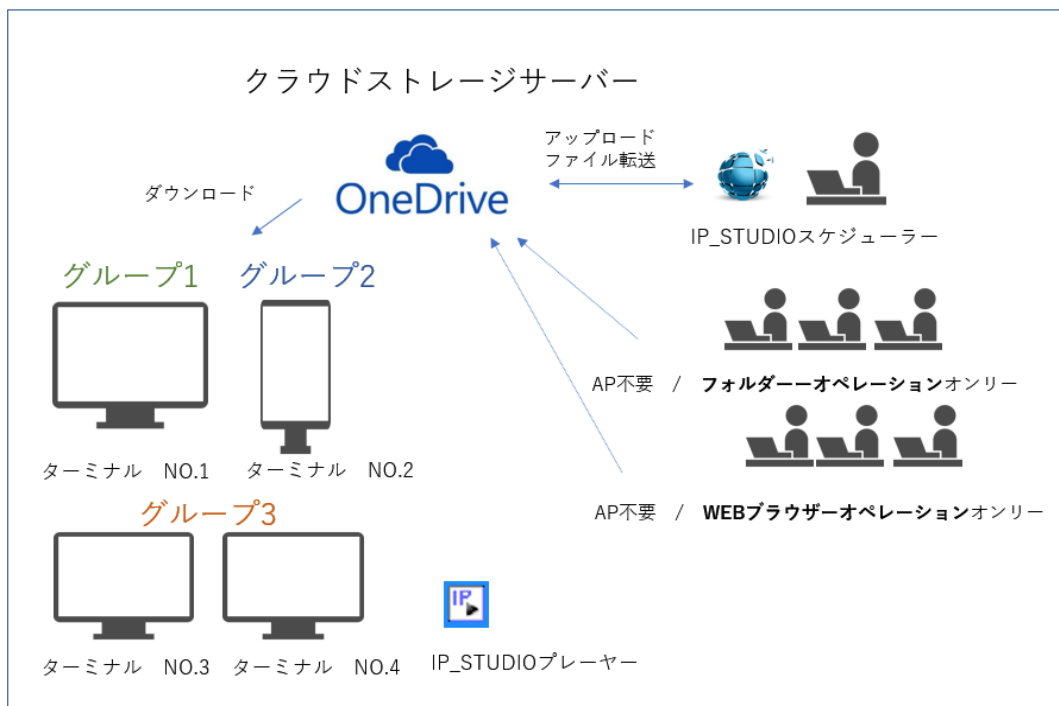
配信を効率良く行うためグルーピングをします。

スケジュールとデザイン、解像度が同じ端末を一つのグループにします。

例として、4台のサイネージで3グループの構成になっております。

※解像度が異なると、コンテンツも解像度に合わせて作成します。

サイネージ	グループ	解像度	表示装置
大型LED	グループ 1 屋外サイネージ	800X600	LED
オフィス	グループ 2 オフィス	1080X1920	液晶（縦表示）
会議室 1F	グループ 3 会議室 1	1920X1080	液晶
会議室 2F	グループ 3 会議室 2	1920X1080	液晶




2. サイネージ（ターミナル）

デジタルサイネージ側にはIP_STUDIOプレーヤーが稼働しています。10秒に1回、最新コンテンツ、スケジュール更新がないかをチェックしています。最新情報があれば、ダウンロードしてリアルタイムに表示が変わります。スケジューラー（配信PC）からコンテンツを転送することをアップロード、ターミナルがコンテンツをサーバーからとってくることをダウンロードと言います。ターミナルの設定は第8章初期設定をご参照下さい。

第2章 IP_STUDIOIVの起動について

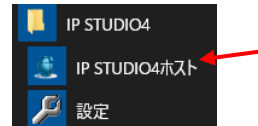
IP_STUDIOIVの起動方法について説明します。

・IP_STUDIOの起動はデスクトップのアイコン  をクリックします。

またはWindowsのスタートボタン  からスタートメニューを表示して

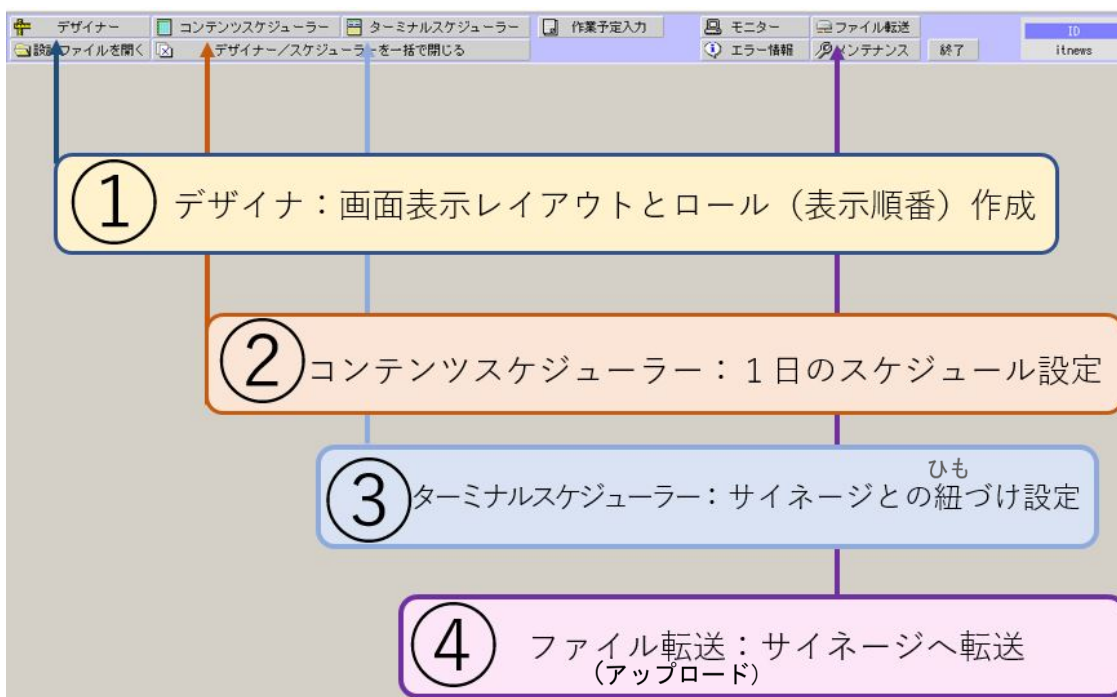
IP_STUDIO4ホストを選択、左ボタンのクリックで起動します。

Windowsのスタートメニューは [Ctrl] + [Esc] でも表示できます。



・IP STUDIOを起動させる前に、クラウドのネットワーク接続をご確認ください。

・IP_STUDIOIV 起動とオペレーションステップ



□新規作成の場合はこの4ステップが基本となります。

※作業日程表表示、各種機器接続（振動系、騒音計など）はオプションになります。

第3章 新規作成とスケジュール作成

本章ではデザイナー（ビューエディターを利用して）で画面のレイアウトとスケジュールの基本となるロール（スケジュールの最小単位）の作成について説明します。まず、最初に表示するためのコンテンツ（データ、ファイル）を準備します。

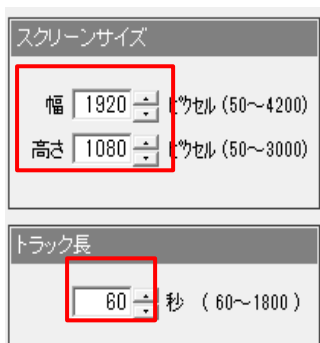
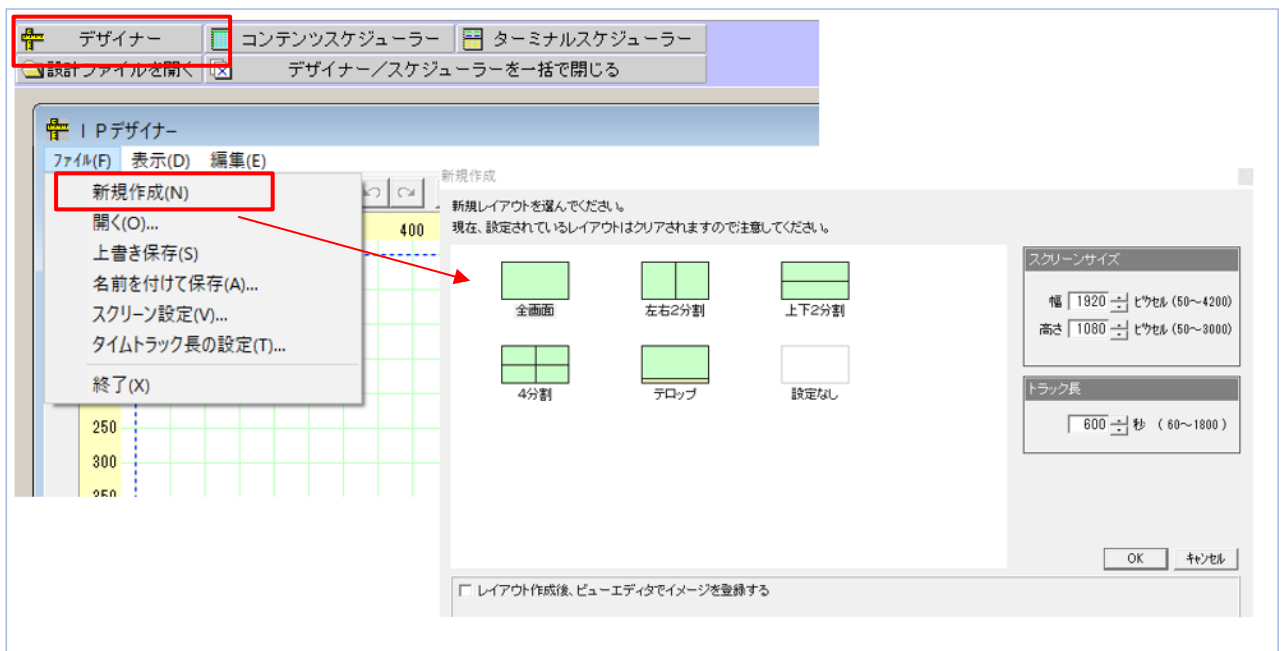
3.1 コンテンツの準備

サイネージで表示するコンテンツ（データ、ファイル）を準備して共有フォルダーに格納します。共有フォルダーはクラウドストレージで利用できるフォルダーです。

3.2 テンプレート（雛形）を利用してレイアウトデザイン（ビューエディター利用）

レイアウトは表示されるコンテンツの位置や大きさを設定します。ここでは代表的な画面レイアウト作成をテンプレートを利用して設定する例を説明します。

IP_STUDIO IVのトップメニューのデザイナーから [ファイル] → [新規作成] → [全画面] を選択します。



□例) スクリーンサイズは幅1920、高さ1080を入力します。

□例) 60秒のトラック長（ロール、最小番組単位）を設定します。（分単位で設定してください）

レイアウト作成後、ビューエディタでイメージを登録する

□ビューエディタの利用をするので、チェックします。

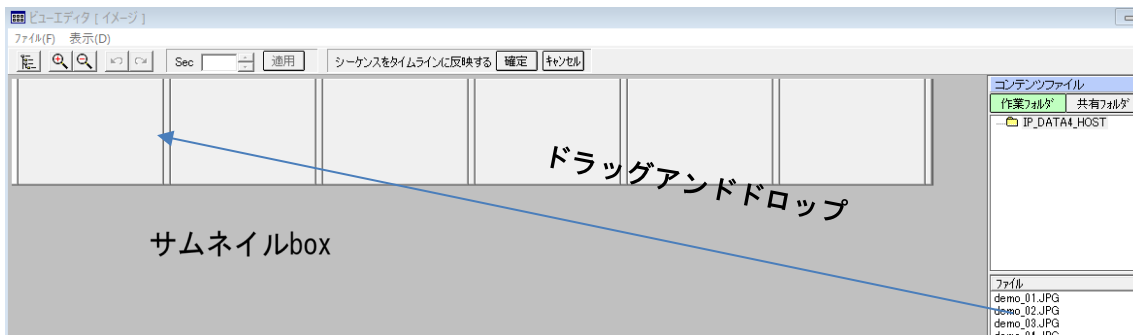
□デザインされた画面と60秒のトラック長が表示されます。

この画面（スクリーンキャンバス）にコンテンツをドラッグ&ドロップして表示の基本となるロールを作成します。

ビューエディターが起動します。

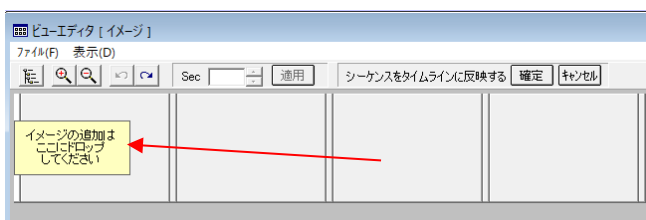
このサムネイルboxにコンテンツをドラッグアンドドロップすることで、コンテンツの表示順番とそれぞれのコンテンツの表示時間を設定します。

予め表示するコンテンツは作業フォルダーか共有フォルダーに格納しておいて下さい。

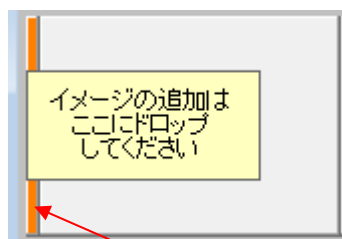
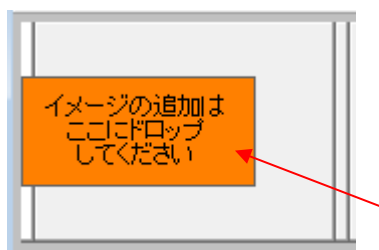


①コンテンツを1つずつ設定する方法

コンテンツファイルからコンテンツを選んで左端の方からドラッグアンドドロップします。



ドラッグアンドドロップする場所は「イメージの追加はここにドロップしてください」と書かれているboxまたはコンテンツドロップバー（縦の細いbox）になります。マウスをそれぞれのboxの上に移動させるとオレンジ色に変わりますので、ドラッグアンドドロップして下さい。



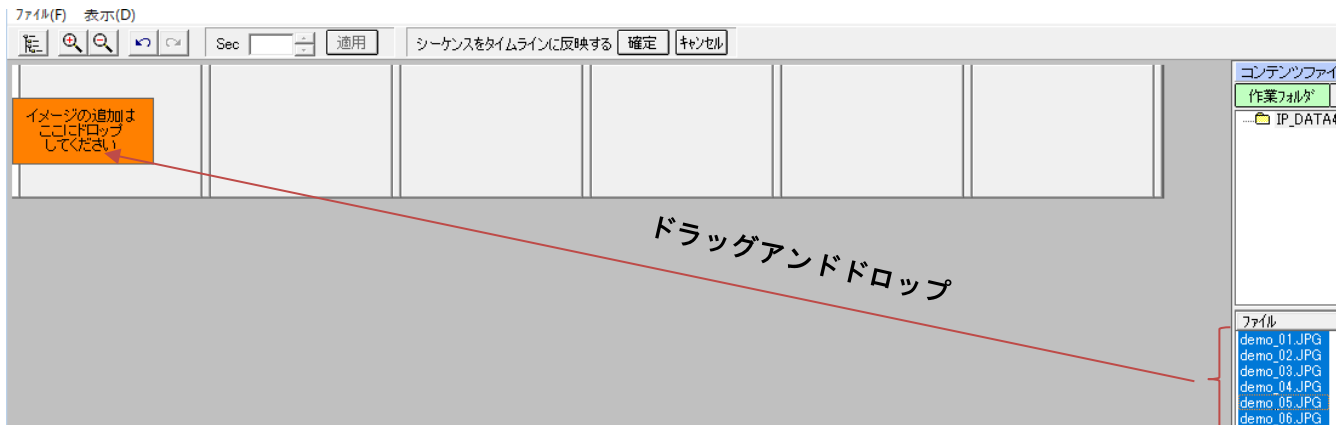
コンテンツコンテンツドロップバー

コンテンツが設定されました。

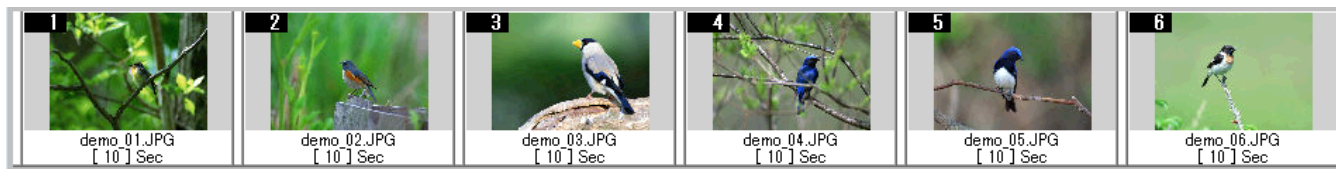


②コンテンツを複数個まとめて設定する方法

コンテンツファイルリストからシフトを押しながらファイルを選ぶことで複数のファイルを選んでドロップバーにドラッグアンドドロップします。（ここでは6個選びます）



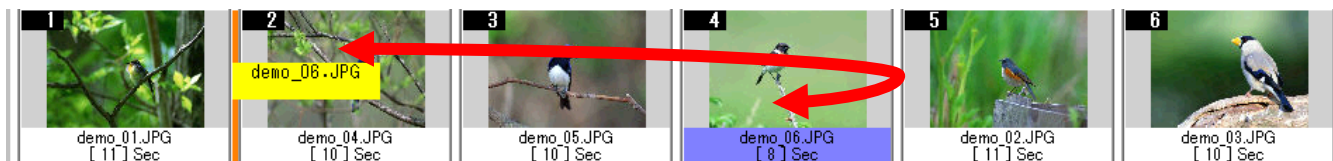
6個のコンテンツが設定されました。



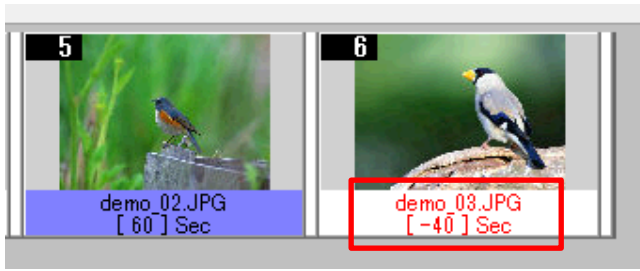
続いて、コンテンツ表示時間を設定します。表示時間はコンテンツを選んでクリックするとファイル名と秒表示boxが紫に色が変わります。表示時間設定バーを利用して時間を入力して [適用] ボタンをクリックします。複数個同時に設定もできます。複数個は [Shift] ボタンを押しながら選択します。



コンテンツ順番の変更はそれぞれのコンテンツを選んで移動したいところにドラッグアンドドロップします。複数のコンテンツの移動もできます。



タイムトラック長の時間を超えた場合は赤いメッセージがでますので、時間を調整して下さい。




□調整は最後のコンテンツで合わせるか、
ファイル>タイムトラック長の設定から、
秒数を入力することでもできます。
トラック長は1分単位が基本となります。

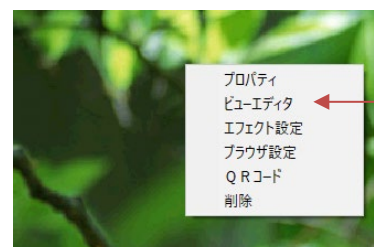
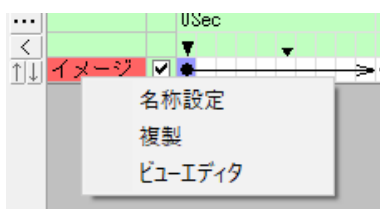
コンテンツの順番、表示時間の設定が完了したら、[シーケンスをタイムラインに反映する[確定]] ボタンをクリックします。タイムライン画面が表示されます。



ビューエディターでコンテンツの順番と表示時間を効率よく設定することができます。

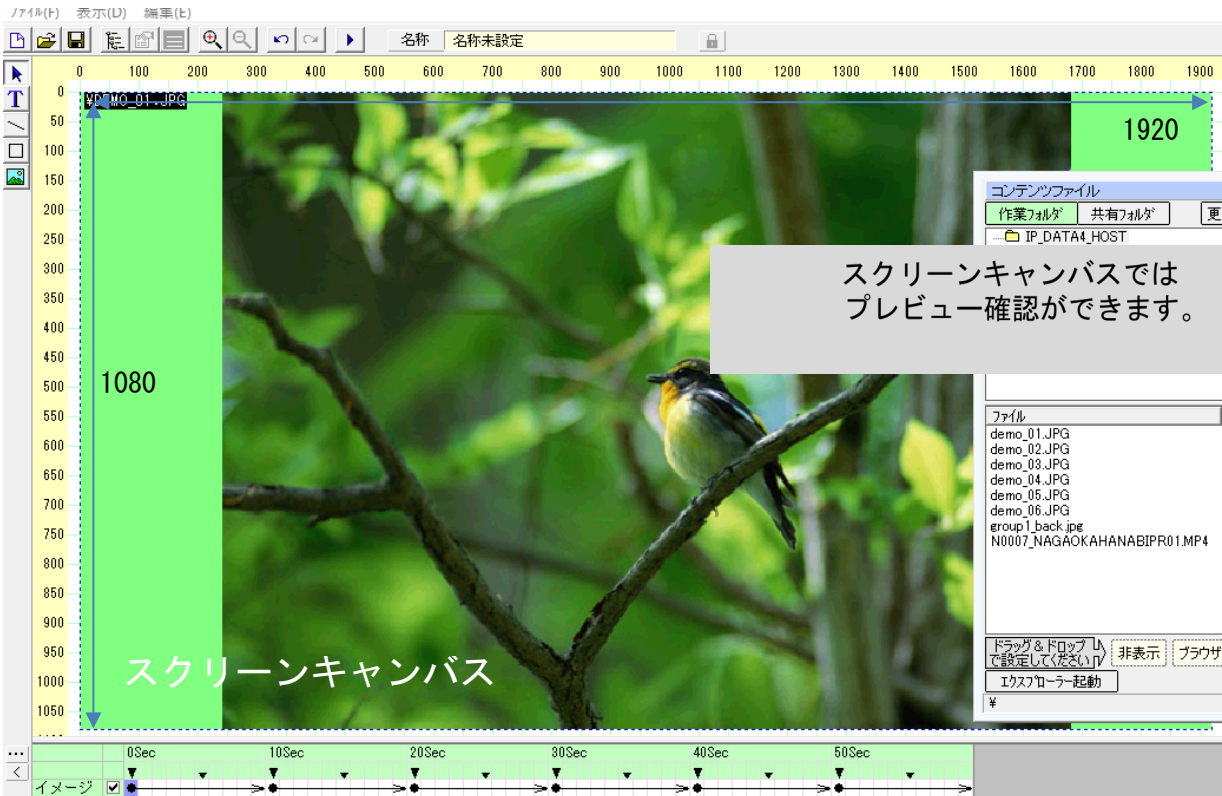


ビューエディターを表示する方法は、ビューエディターボタンを  をクリックするか、タイムラインのイメージボタンのクリックで表示されるビューエディタをクリックするか、スクリーンキャンバス上のコンテンツの上で右ボタンをクリックしてプロパティboxを表示させてビューエディターを選びこ
とで表示させることができます。



スクリーンキャンバスで確認とファイル登録

新規作成からビューエディターで設定したコンテンツはテンプレートの[全画面]レイアウトとタイムトラック長60秒で設定しました。ここでは詳細確認とファイル登録をします。



スクリーンキャンバスでは
プレビュー確認ができます。

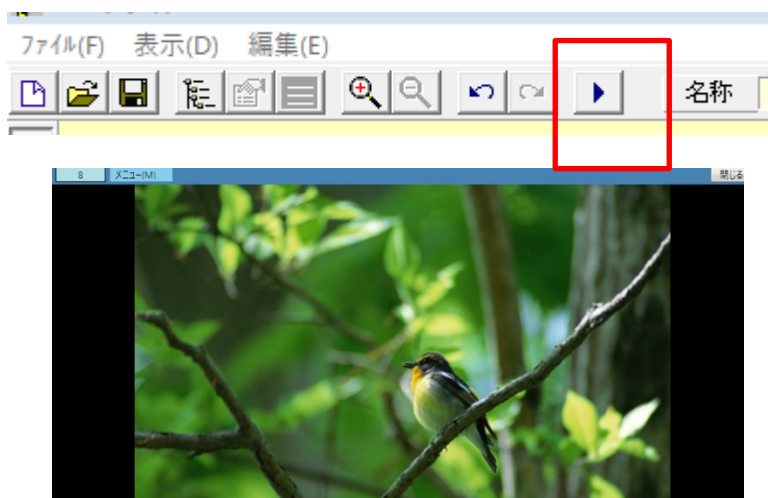
スクリーンキャンバス

タイムトラック (表示時間 60秒ロール)

トラック長 (表示時間)

□ 例) 表示画像のサイズは1920 x 1080、1ロール60秒の基本デザインが完成しました。

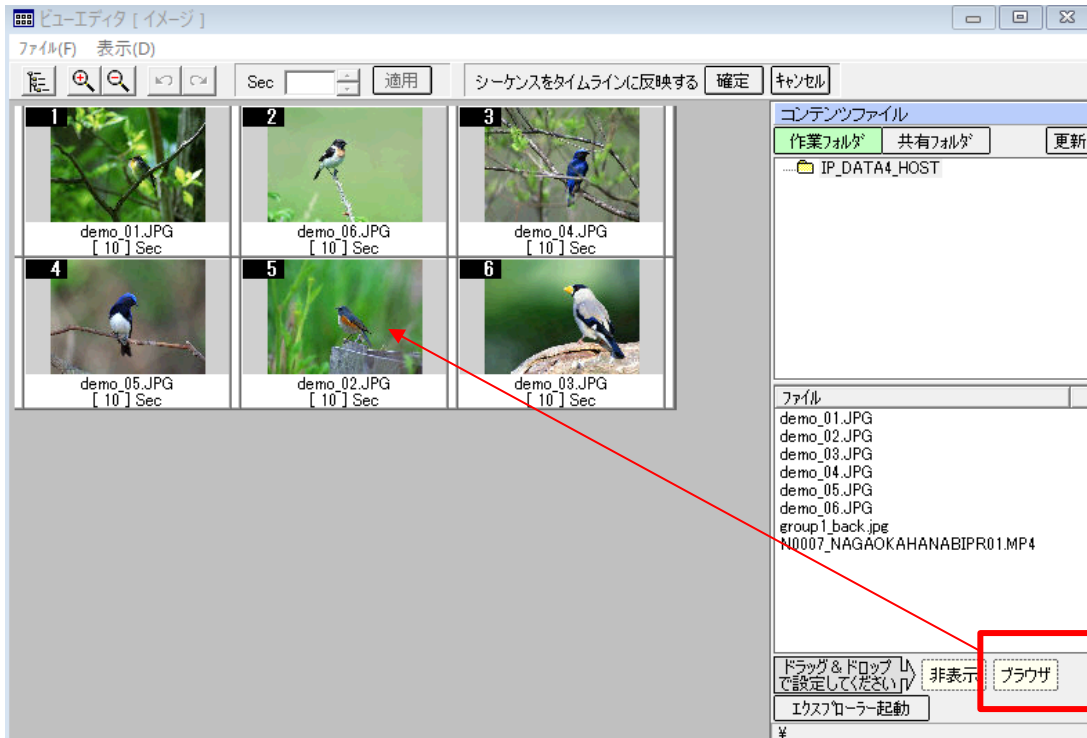
プレビューボタンをクリックすることでサインージで表示する画面が確認できます。



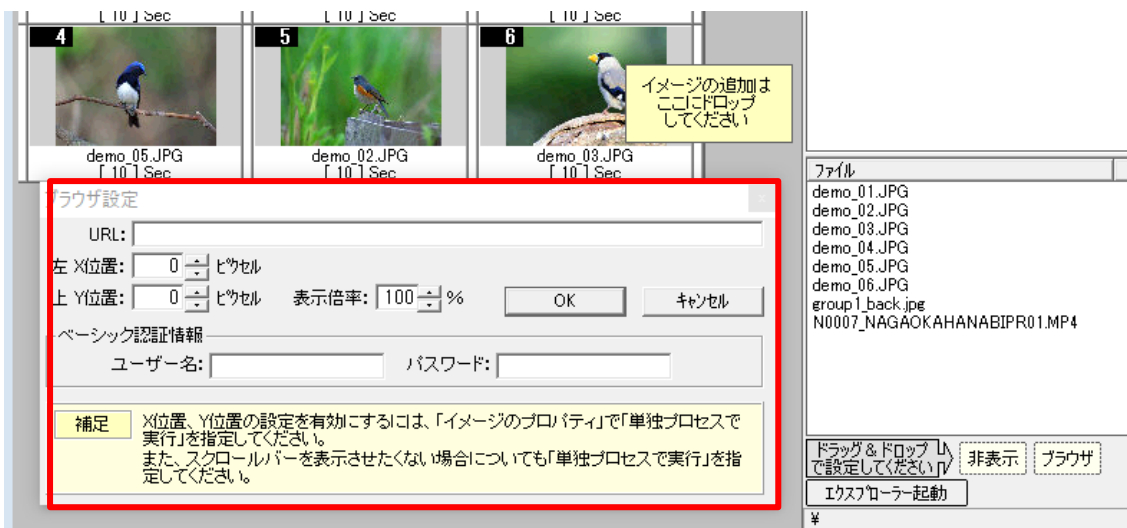
確認後はファイルの「名前を付けて保存」または「上書き保存」をして下さい。

ビューエディターでWEB（ホームページなど）の表示設定

コンテンツファイルboxのなかの「ブラウザ」を表示する順番のところへドラッグアンドドロップします。



ブラウザ設定boxが表示されますので、ブラウザのURLを入力して、ブラウザの中の表示したい箇所をX、Y座標を入力して下さい。Basic認証が必要なブラウザの場合はユーザー名、パスワードを入力します。



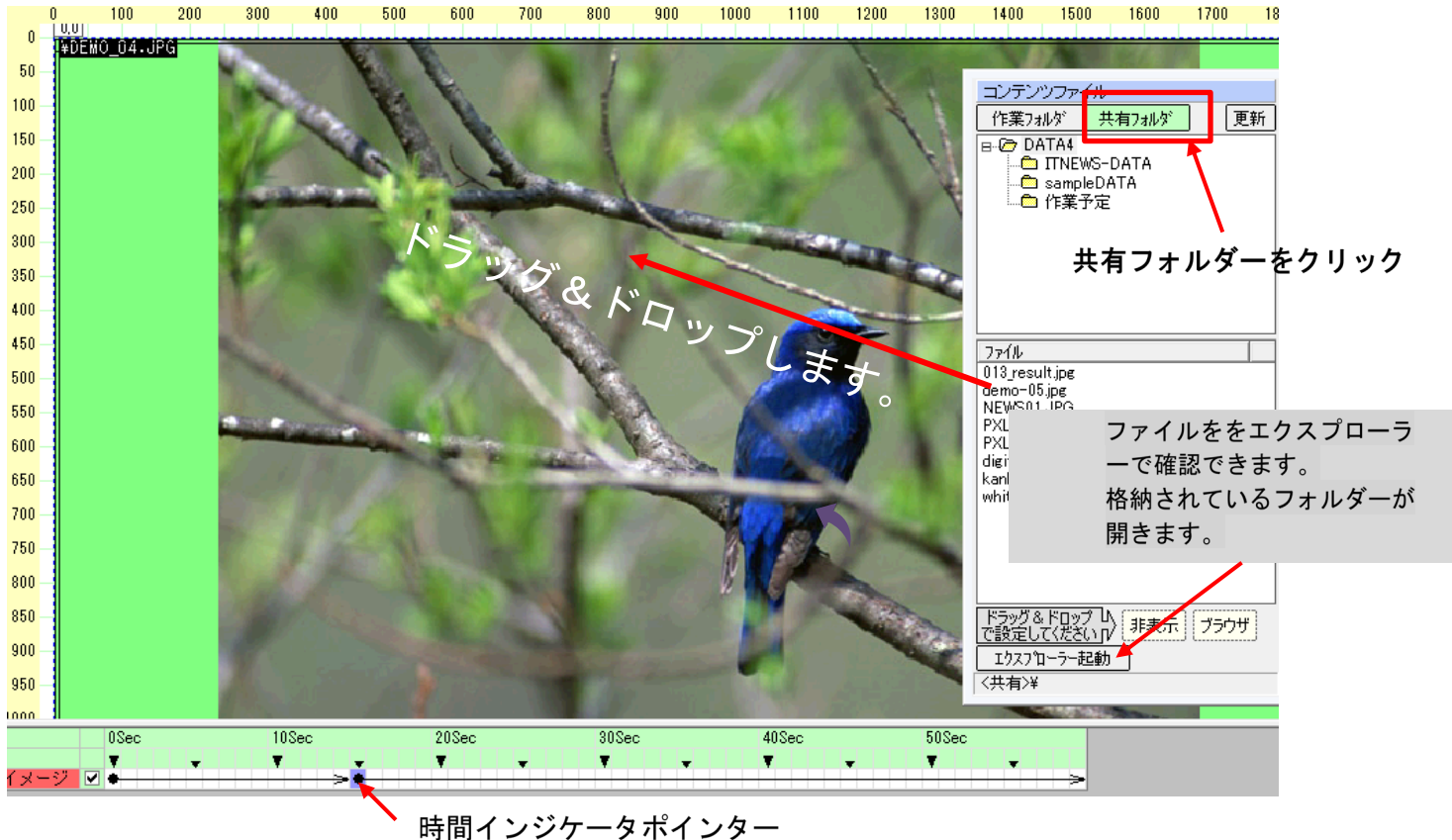
設定後にOKボタンをクリックすると下記のようにになります。



※ブラウザによっては表示できないものもあります。表示は「シーケンスをタイムラインに反映する」ボタンからスクリーンキャンバス表示のプレビューで確認できます。

3.3 共有フォルダーまたは作業フォルダーからコンテンツを設定

コンテンツの設定はコンテンツファイルのフォルダーからスクリーンキャンバスにドラッグ&ドロップすることでもできます。(100G以上のコンテンツは作業ホルダーの利用をおすすめします)




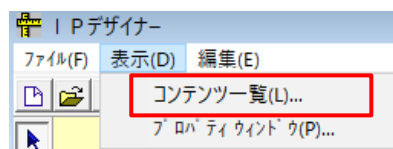
□開始する時間に時間インジケータポインタをクリックしてコンテンツをドラッグ&ドロップします。

直前の操作に戻す場合は上部メニューにある   ボタンか、キーボードの「Ctrl+Z」で元に戻ります。

1. コンテンツの格納は共有フォルダーは設定済のフォルダー、作業フォルダーは

作業しているパソコンのCドライブ内 C:の【IP_DATA4_HOST】(固定)になります。

2. コンテンツファイルのBOXの表示はメニューの表示はコンテンツ一覧からか  ボタンをクリックして表示させます。



□コンテンツファイルはメニューから表示もできます。

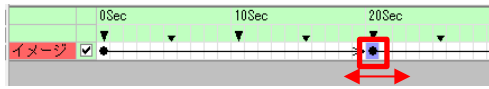
コンテンツを入れ替えた(新規に追加)場合は、更新ボタンをクリックしてください。

3.4 表示時間設定調整

1つのコンテンツの表示時間の調整は下部タイムラインで行いません。トラック長の時間調整はトラック長の設定で行います。

①再生時間調整（後から変更できます）

コンテンツ切替時間ポインターでマウスを左クリックし、紫色にした後、マウスを移動させて時間を調整します。

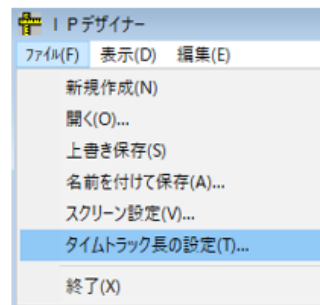
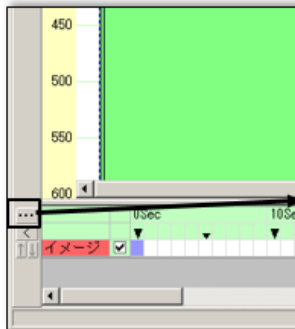


紫色のポイントで、マウスを左押し、左右に移動します。

②トラック長の設定と変更（後から変更できます）

デザイナー画面の「トラック長設定」ボタン（画面左のボタン）を「...」をクリックすると「タイムトラック長の設定」画面が表示されます。トータル再生秒数を入力します。設定は分単位でします。

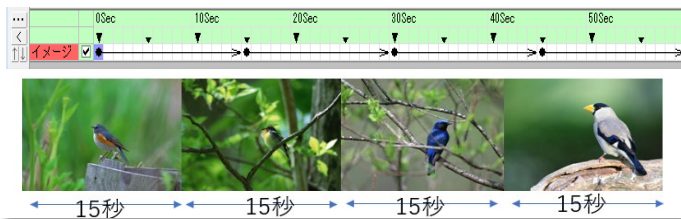
メニューからも設定できます。数値を入力後OKをクリックします。



「...」ボタンをクリックで設定

メニューから選択

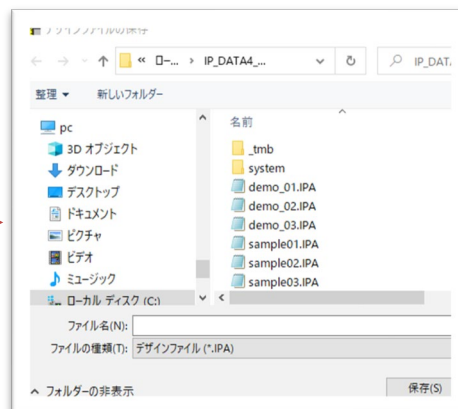
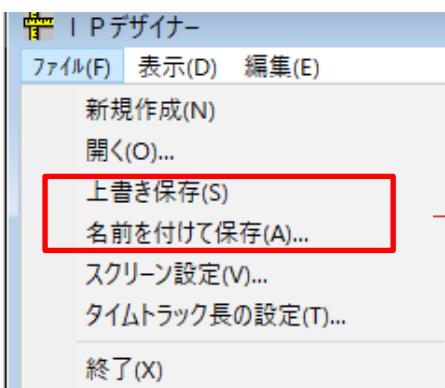
□タイムトラック長を60秒にして、15秒毎に4個のコンテンツを設定した例です。



例) 4つのコンテンツを15秒ごとで表示。

※3分30秒の動画の場合、4分に設定するため、240秒にして30秒は他のコンテンツを表示させて下さい。他のコンテンツを設定しない場合は、動画の最後のフレームが30秒間表示されます。

デザイナーの設定が終了した後は、ファイルの「名前を付けて保存」または「上書き保存」をして下さい。



□拡張子は自動でIPAとなります。

3.5 コンテンツスケジューラー（基本番組編成）の設定

コンテンツスケジューラーは1日の番組編成です。

3.5.1 サービス時刻の設定・変更…コンテンツがサイネージに表示されている時刻

コンテンツスケジューラー画面の「サービス時刻」ボタンを押すと、「サービス時刻設定」画面が表示されます。ご利用の環境に合わせてサービス時刻の設定を例として【開始時刻：06時00分】【終了時刻：22時0分】に変更します。



3.5.2 コンテンツスケジューラ（基本番組編成）の設定・変更

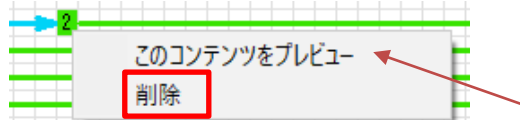
「デザインファイル」から、スケジュール登録するデザイナーデータを開始時刻位置にドラッグ&ドロップします。設定したデータ情報は「スケジュール一覧」に表示されます。

識別	ファイル	名称	回数	分数
1	%demo_01.IPA	名称未設定	1	148
2	%sample01.IPA	名称未設定	1	329
3	%demo_03.IPA	名称未設定	1	91
4	%sample02.IPA	名称未設定	1	300

ターミナル電源操作
動作 なし
時刻 01時00分
00:00~00:10以外で設定し

□スケジュールの1例です。スケジュール一覧にはファイル名、名称、表示回数、表示時間（分数）が表示されます。ドラッグ&ドロップ時に詳細の設定パネルが出ますので活用して下さい。（次ページで説明しています）

スケジュールの修正は上書き、または削除します。マウスを識別番号の上にのせて右クリックで削除ボタンをクリックします。



※識別番号1...はシステムで自動で生成されます。

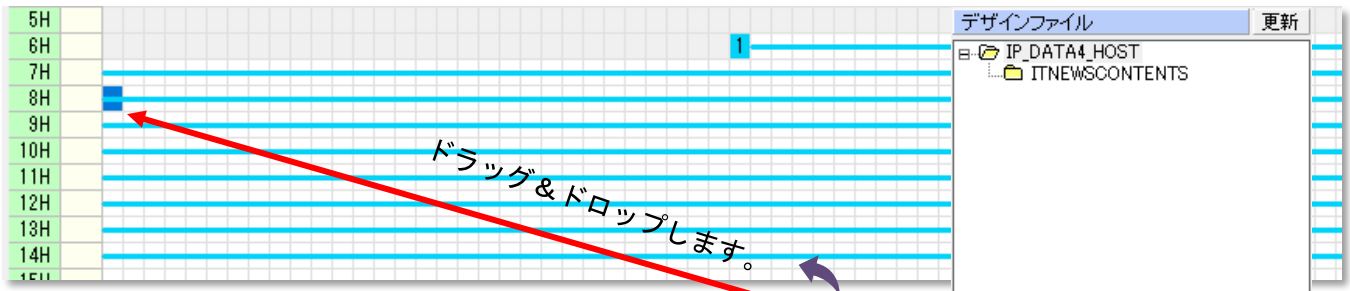
※プレビュー機能は無効です。

3.6コンテンツスケジューラー（基本番組編成）の解説

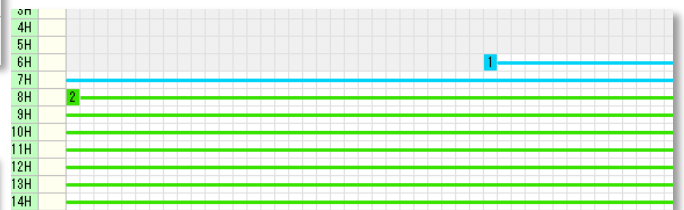
デザイナーで作成したIPA（デザイナーで作成したファイル）をドラッグ&ドロップして1日のスケジュールリングをします。

ドラッグ&ドロップするには、開始する時間の上でマウスを離します。

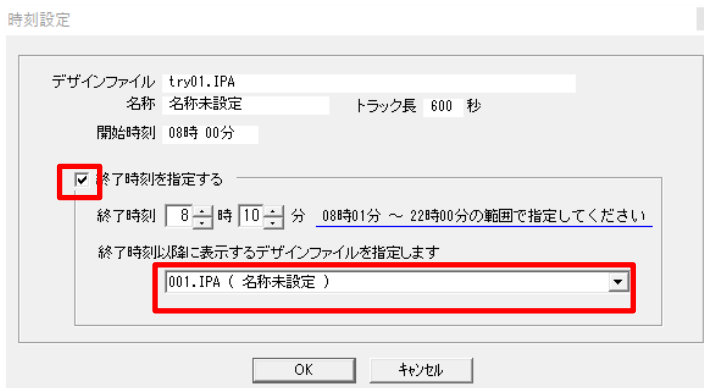
補助画面が出てきますので参照しながら設定して下さい。ドラッグ&ドロップしたIPAの終了時間と次に始まるIPAを指定できます。



□終了時間を指定していない場合。

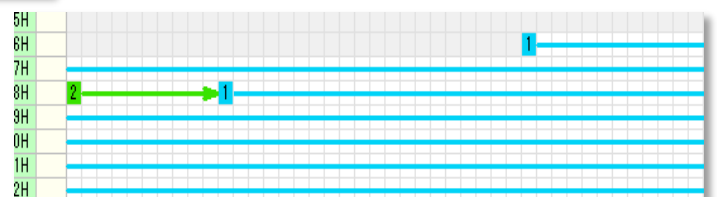


□終了が設定がないので最後まで、あるいは次のIPAまで設定されます。



□終了時間と次のIPAをした場合

(チェックを入れて終了時間を設定します。)



□指定した10分間だけラインが引かれ、終了後には指定した次のIPAが設定されます。

コンテンツスケジューラーの設定が終了した後は、ファイルの「名前を付けて保存」または「上書き保存」

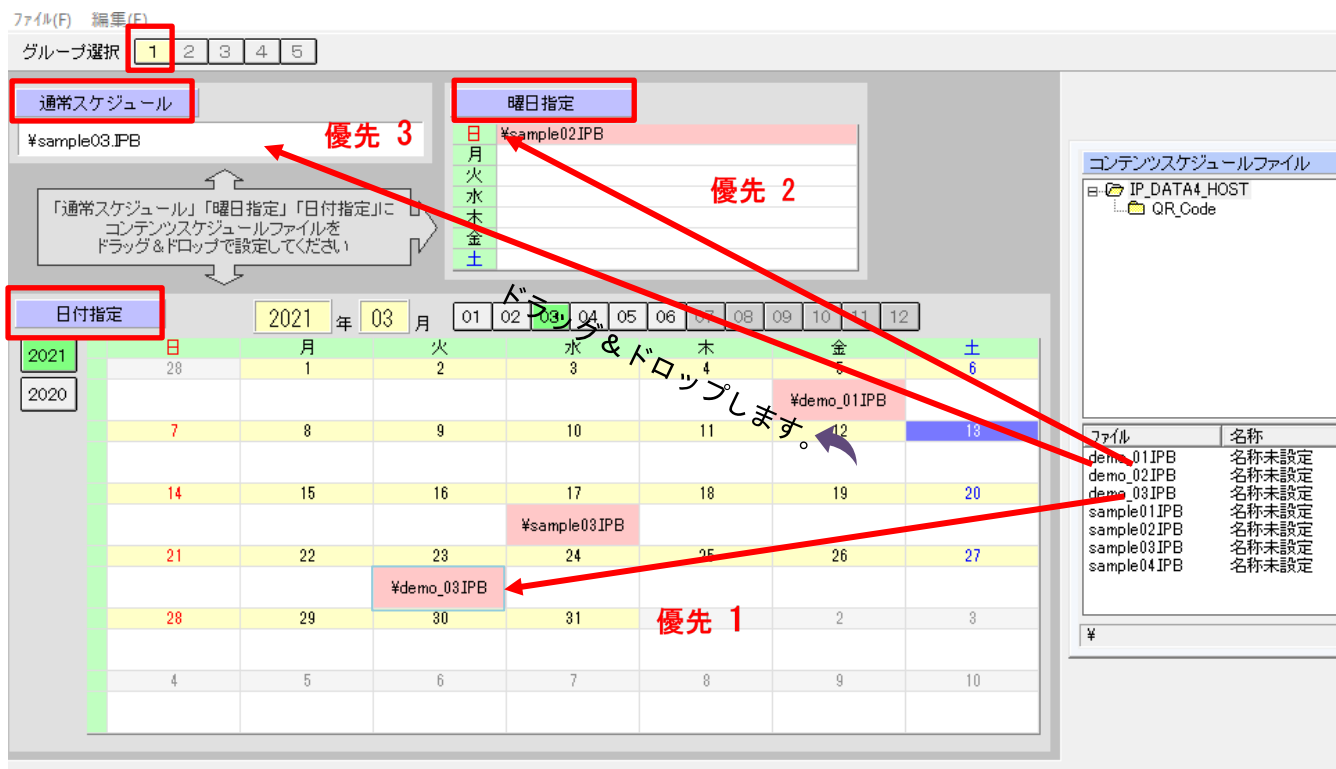
をして下さい。拡張子は自動でIPBとなります。

3.7 ターミナルスケジューラー（サイネージ割付とスケジューリング）で配信日程の設定

サイネージ（ターミナル）へ、どのスケジュールを送るかを設定します。コンテンツスケジューラーで作成したファイルをドラッグ&ドロップします。

- グループ毎に設定します。（グループはメンテナンスで設定します）
グループ選択ボタン [1~5] から選択します。（数値の上をクリックします）

ここではファイルの上書きは必要ありません。ドラッグ&ドロップした時点で上書きされます。



優先順位 日付指定>曜日指定>通常スケジュール

通常スケジュールを登録していても、日付指定で登録したスケジュールが優先されます。日付指定がない場合は曜日指定が優先、日付指定、曜日指定がない場合は通常スケジュールが優先されます。

グループ毎に設定します。（変更のないところはそのままです）

削除はファイル名の上にマウスを乗せて右クリックすると削除ボタンが表示されます。クリックで削除できます。



※ターミナルスケジューラーで通常スケジュールは必須です。曜日指定、日付指定は指定しなくてもかまいません。3ヶ月先まで予約できます。

3.8 アップロード（サーバーへファイル転送）

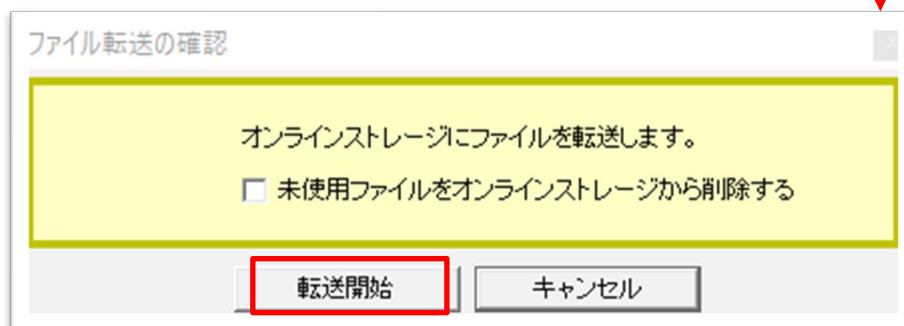
デザイナーでコンテンツを差し替えた後に、コンテンツスケジューラーで番組編成を変更したあとはアップロードを行います。

ファイル転送ボタンをクリックすると、確認メニューBOXが表示されます。

転送開始ボタンをクリックします。



ファイル転送の確認BOXが表示されるので、転送開始ボタンをクリックします。



ファイル転送（アップロード）が正常に行われた場合、更新の欄（転送対象）の [○] が [—] になります。

未使用ファイルをオンラインストレージから削除する。

[] 未チェック：未使用ファイルを再度利用する可能性がある場合はこのまま

[レ] 有チェック：未使用ファイルを削除します。

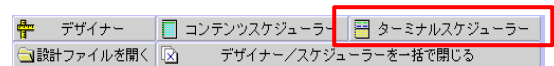
第4章 設定情報の確認（最新情報の確認）

IP_STUDIOIVスケジューラーで現在設定されている情報を確認します。

4.1 ターミナルスケジューラーで確認

1. ターミナルスケジューラーの起動はメニューから

ターミナルスケジューラーをクリックします。



2. グループ選択からグループ番号を選択、クリックします。

通常スケジュール：曜日指定、特定日指定がない場合の通常どおりのスケジュール

曜日、日付指定がある場合は、その日で配信されます。

「通常スケジュール」「曜日指定」「日付指定」にコンテンツスケジュールファイルをドラッグ&ドロップで設定してください

日曜日だけ表示するが設定されています。

毎日表示する設定です。

特定日の表示が設定されています。

4.2 コンテンツスケジューラーで確認

「通常スケジュール」「曜日指定」「日付指定」にコンテンツスケジュールファイルをドラッグ&ドロップで設定してください

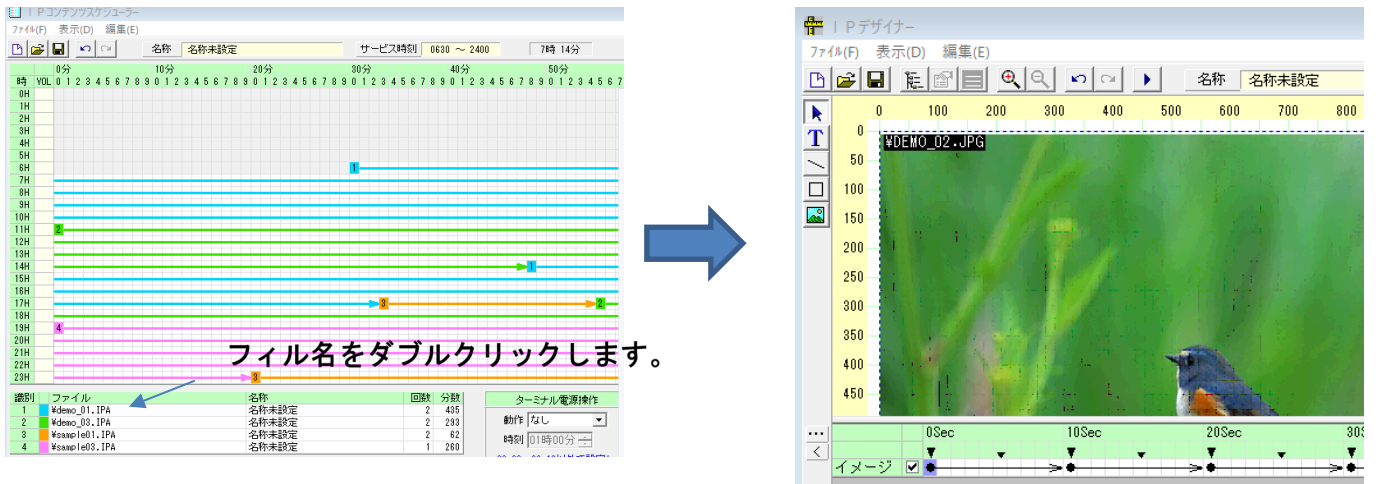
フィル名をダブルクリックします。

・ターミナルスケジューラーのファイルをダブルクリックすることでコンテンツスケジューラーで実際の1日の番組編成（スケジュール）を確認できます。（コンテンツスケジューラーが起動します）

4.3 デザイナーで確認

・コンテンツスケジューラーの識別の横のファイルから実際のファイルをダブルクリックすることで、デザイナーのファイルが確認できます。

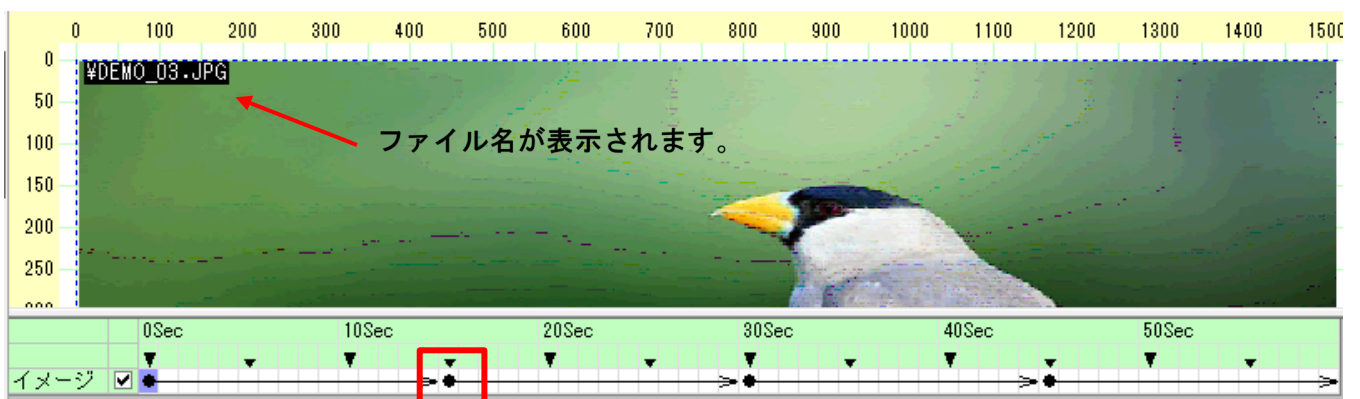
ファイル名をダブルクリックすることで自動でデザイナーが起動します。



□ファイル名をダブルクリックします。

実際に配信されているファイルを確認するには、タイムラインを利用します。

タイムライン上の時間ポインタをクリックすることでコンテンツが表示されファイル名が表示されます。

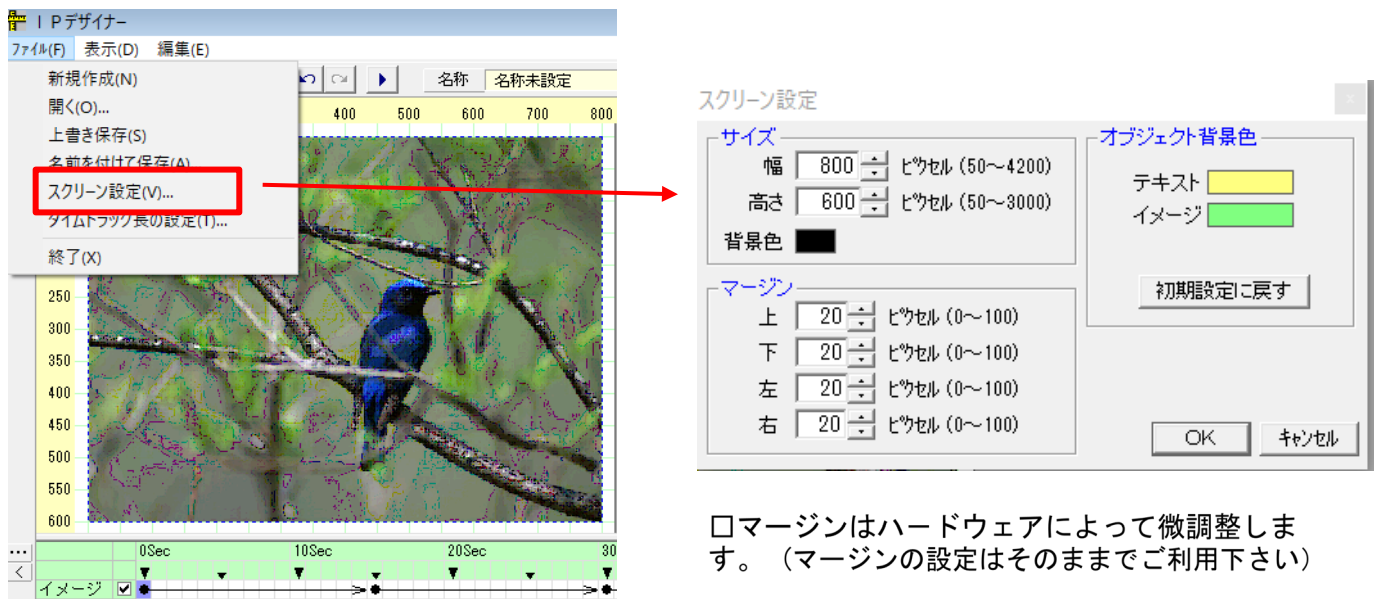


時間インジケートポインター

そのタイミングで設定されているコンテンツ（ファイル）が確認できます。画像を確認するにはこのポインタの上にマウスを移動してクリックしてください。

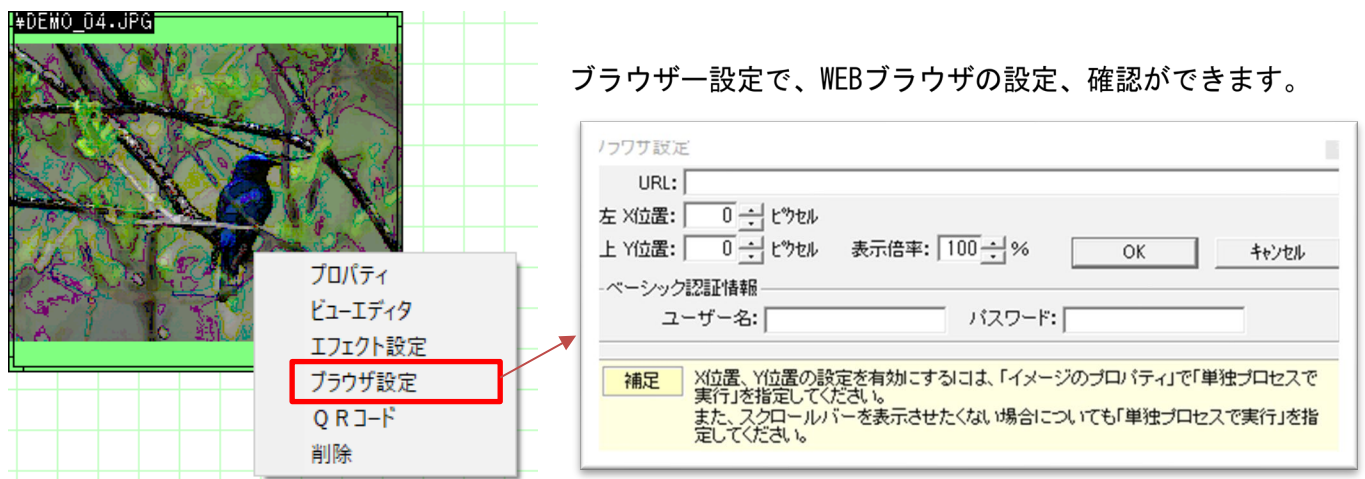
4.4 デザイナーでレイアウト設定の確認

デジタルサイネージに実際に配信している解像度を確認するにはデザイナーのファイルのスクリーン設定で確認できます。



□解像度が幅 800 ピクセル、高さ 600 で設定されています。

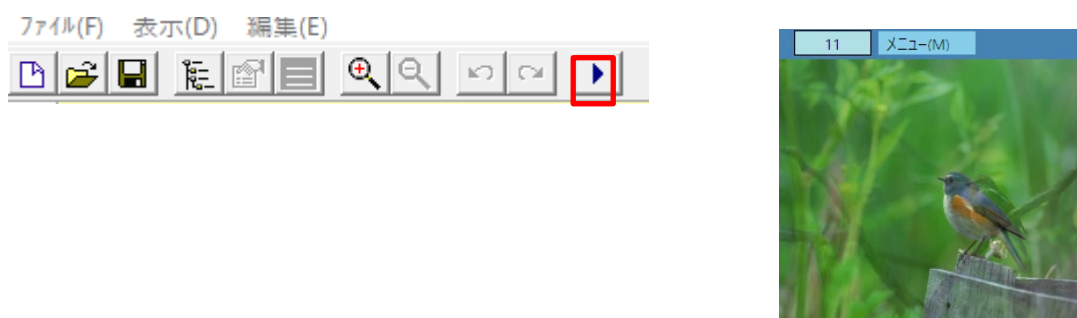
コンテンツの上でマウスの右ボタンのクリックでプロパティが表示できます。



ブラウザ設定で、WEBブラウザの設定、確認ができます。

□URLを設定することで、WEBページが表示できます。

□プレビューボタンでプレビュー表示ができます。実際のサイネージでの表示イメージが確認できます。

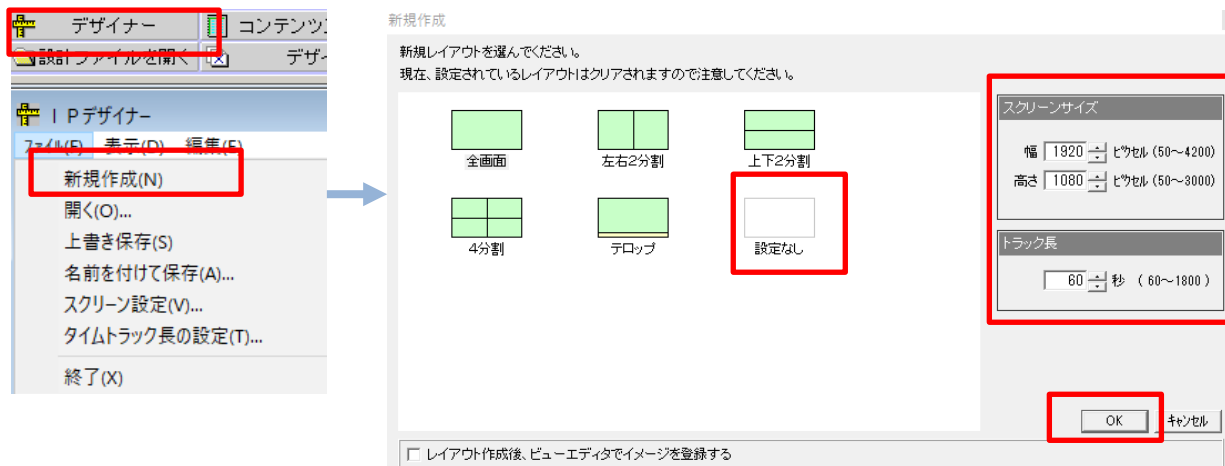


第5章 テンプレートを利用しないでレイアウトする方法

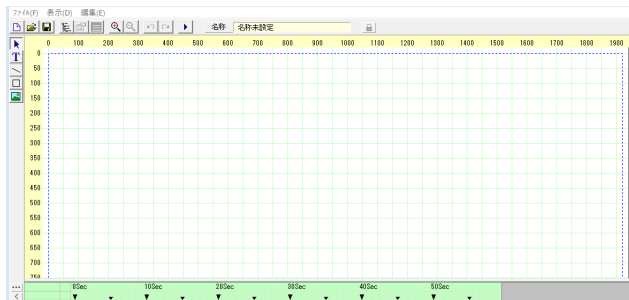
デザイナーのレイアウトをテンプレートを利用しないでデザインする方法について説明します。

1. [新規作成] → [設定なし] をクリックします。

スクリーンサイズは幅[1920]高さ[1080]、トラック長[60]にします。[OK]をクリックします。

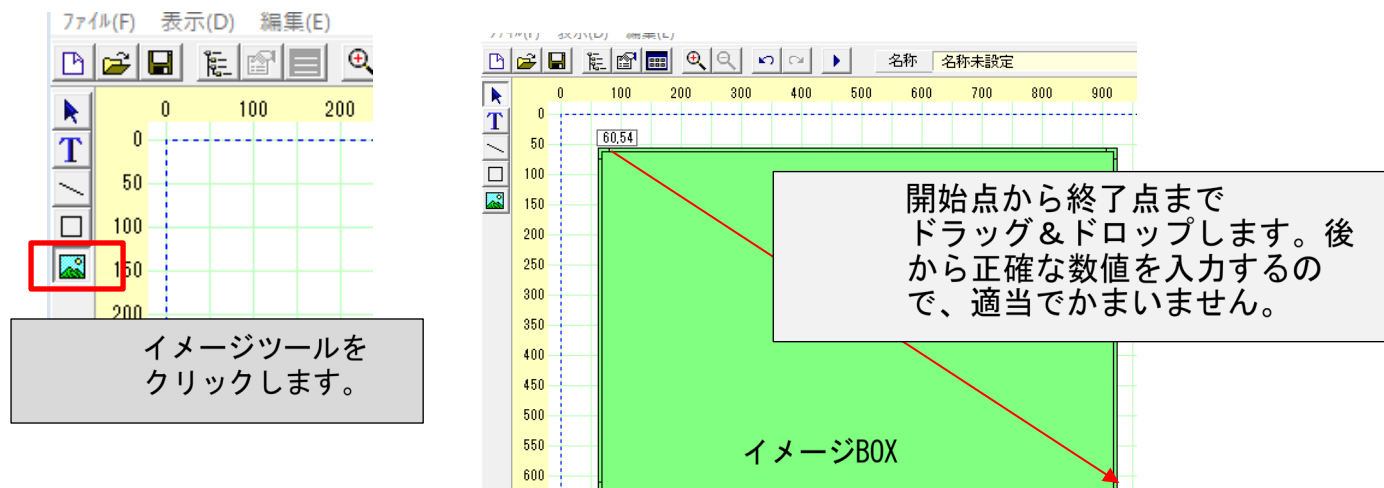


レイアウトが無い状態のスクリーンキャンバスが作成されます。

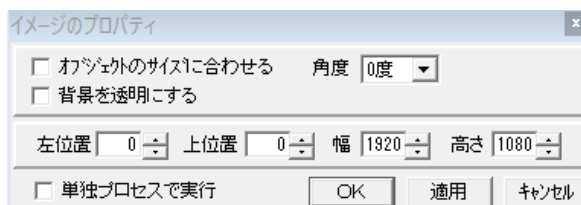


2. 表示画像のサイズ設定（実際にサイネージに表示するコンテンツのサイズの設定）

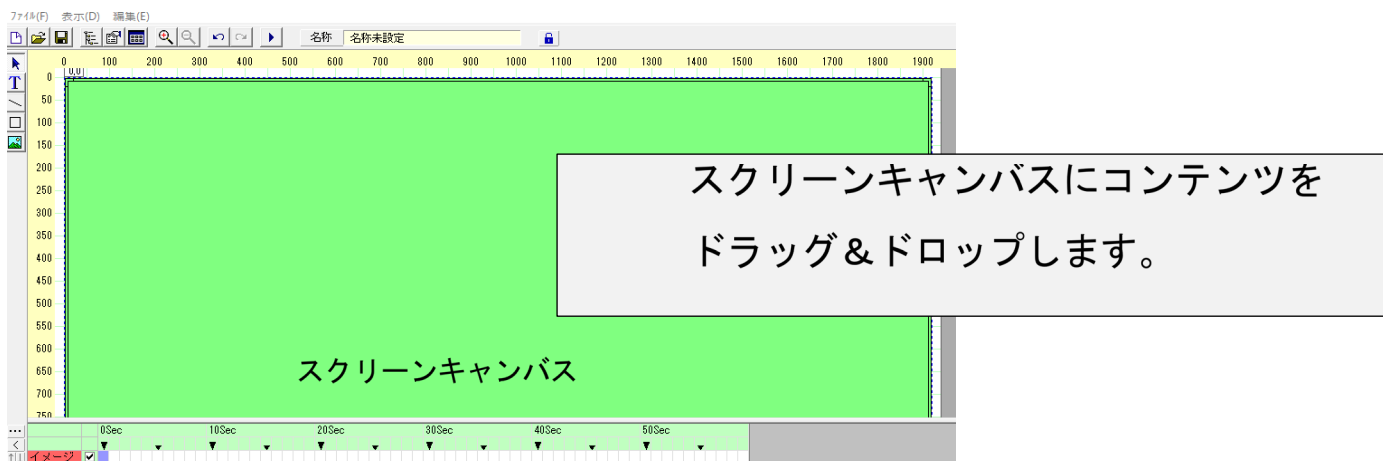
コンテンツの表示されるサイズを指定するにはイメージツールをクリック、スクリーンキャンバスに任意のサイズのイメージBOX（緑色のBOX）を作成します。イメージのプロパティで位置、幅などの詳細を指定します。プロパティではWEB、ORコード、PDF詳細設定などが利用できます。



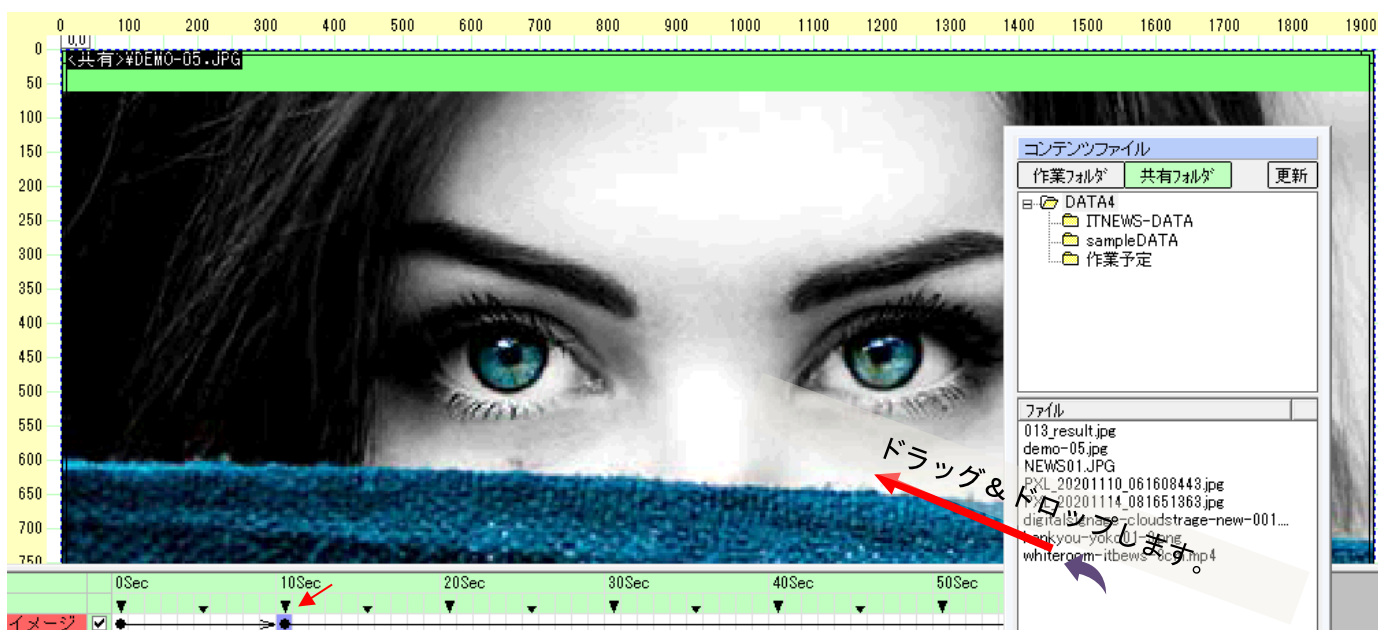
正確な数値をプロパティで入力します。



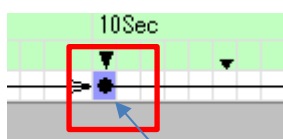
画面全体に1つのコンテンツ（画像を）表示するレイアウトが完成しました。



このスクリーンキャンバスに予め用意したコンテンツをドラッグ&ドロップします。

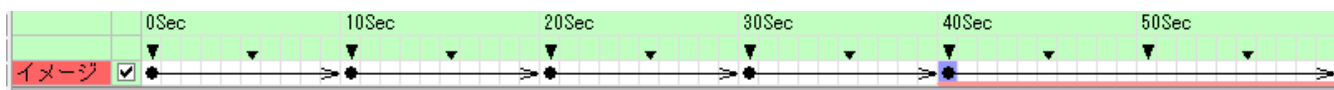


2 個目のコンテンツ追加をするときに開始時点のポイントをクリックします。



タイムインジケータが追加されます。開始時間を設定して、ドラッグ&ドロップすることで、時間とコンテンツのタイミングが設定されます。

これで 1 ロール（最小単位のスケジュール）が作成できます。



この例は60秒 1 ロールに静止画が各10秒 4 個、最後に動画が20秒設定されています。

設計（デザイン）を確認するにはプレビューボタン  をクリックします。

完成後はファイルの保存を行います。任意の名称を付けて保存します。IPAファイルとして保存されます。イメージBOXは任意の位置に複数レイアウトできます。独自のデザインを作成下さい。

第6章 IP_STUDIOを利用せずコンテンツを更新する方法

ここではIP_STUDIOスケジューラーを使わないで、クラウドに接続できるPCからコンテンツの更新をする方法を説明します。

ファイル名は同じもので、作成したファイルをドラッグ&ドロップして下さい。

その他の操作は必要ありません。

ファイルをそのまま上書き

作成したアプリケーションから上書きできます。
(アプリケーションによっては書き換え、保存)



↓
ダイレクトに上書き



ドラッグ&ドロップで上書き

保存されているフォルダーから上書きできます。
(フォルダー、デスクトップなどから上書き)

保存フォルダー

↓
ドラッグ&ドロップ



エクスプローラー利用で簡単・便利

□エクスプローラーはWindowsに標準装備のファイルやフォルダーが収納されているところです。

※共有フォルダーから配信されているコンテンツはIP_STUDIOを使うことなくコンテンツの更新ができます。(作業フォルダーからの配信はファイル転送が必要です)

※不定期に更新される情報の更新も同様な手順で行います(ファイル名が同じものを上書きします。)
※コンテンツを更新する場合は、ファイル名と拡張子を変えずに更新後のデータで上書きしてください。

※ファイルを上書きするフォルダーはインストール時に設定したネットワークフォルダー(共有フォルダー)です。

第7章 利用できるコンテンツ（ファイル）について

□利用できるコンテンツは以下のコンテンツです。（拡張子で確認して下さい）

静止画 : JPG, PNG, PDF

動画 : mpeg4（拡張子mp4）, wmv

音楽・音声 : mp3（拡張子mp3）

WEB : 一般的なWEBが表示できます。ID、Password入力が必要なページにも対応。
（表示できないWEBもあります。）

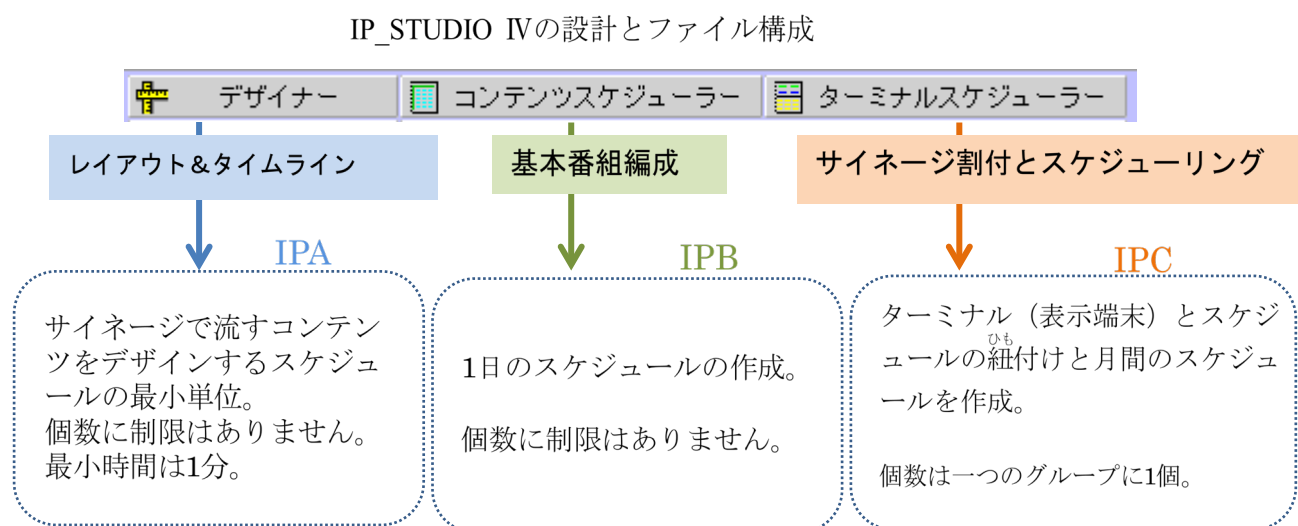
□ファイルサイズとコンテンツ数

1個のアップロードファイルサイズは100メガバイト以下です（クラウドストレージサーバーによりま
す）。動画、PDFは容量を確認下さい。コンテンツ数に制限はありません。

□動画については圧縮方法（エンコーダー）によっては、再生できない場合もありますのでサイネージに
流す前にご確認下さい。

□PPTパワーポイントオリジナルファイルはそのままでは表示できません。静止画はPDF, 動画はwmvなど
に変換して下さい。

□IP_STUDIO IVファイルは下記のような構成になっています。（参考）



□IPA、IPB、IPCはWindowsのファイルと区別するためのIP_STUDIO IV独自の拡張子（識別子）です。
この3ファイルをアップロード（ファイル転送）することでサイネージがスケジュールどおり表示され
ます。

第8章 初期設定について

□ IP_STUDIO IVをご利用するには、初期設定が必要となります。

1. スケジューラーでのクラウドサーバーのフォルダー設定……………配信PC（ホスト）
2. メンテナンスでのターミナル設定……………配信PC（ホスト）
3. サイネージ（STB）のクラウドサーバーのフォルダー設定…STB（ターミナル）



1. クラウドサーバーのフォルダー設定は下記をご参照下さい。

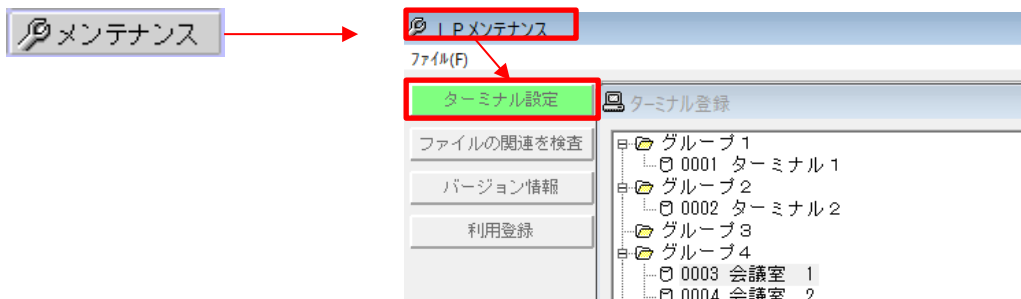


スタートメニューから



□ ネットワークフォルダーにOneDriveを利用して、フォルダーをDATAと設定している例です。

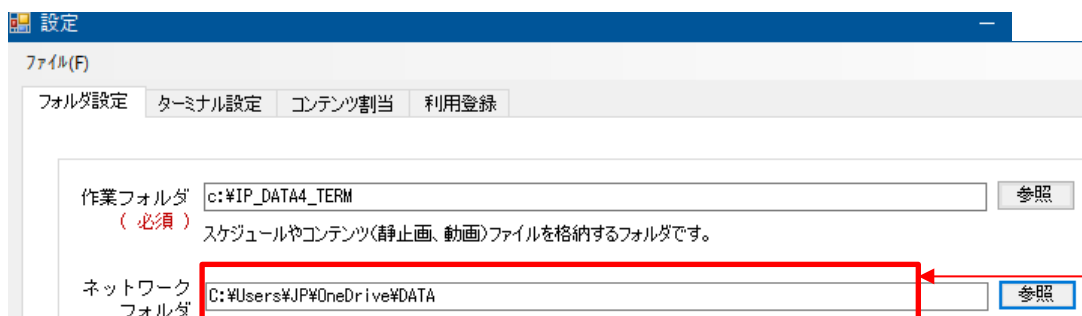
2. ターミナルの設定は下記をご参照下さい。メンテナンスのターミナル設定から設定します。



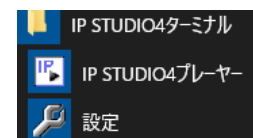
同じフォルダ

□ グループは3グループ、サイネージの台数は4台です。ターミナルに番号を設定します。

3. サイネージ（STB）側のフォルダー設定は下記をご参照下さい。



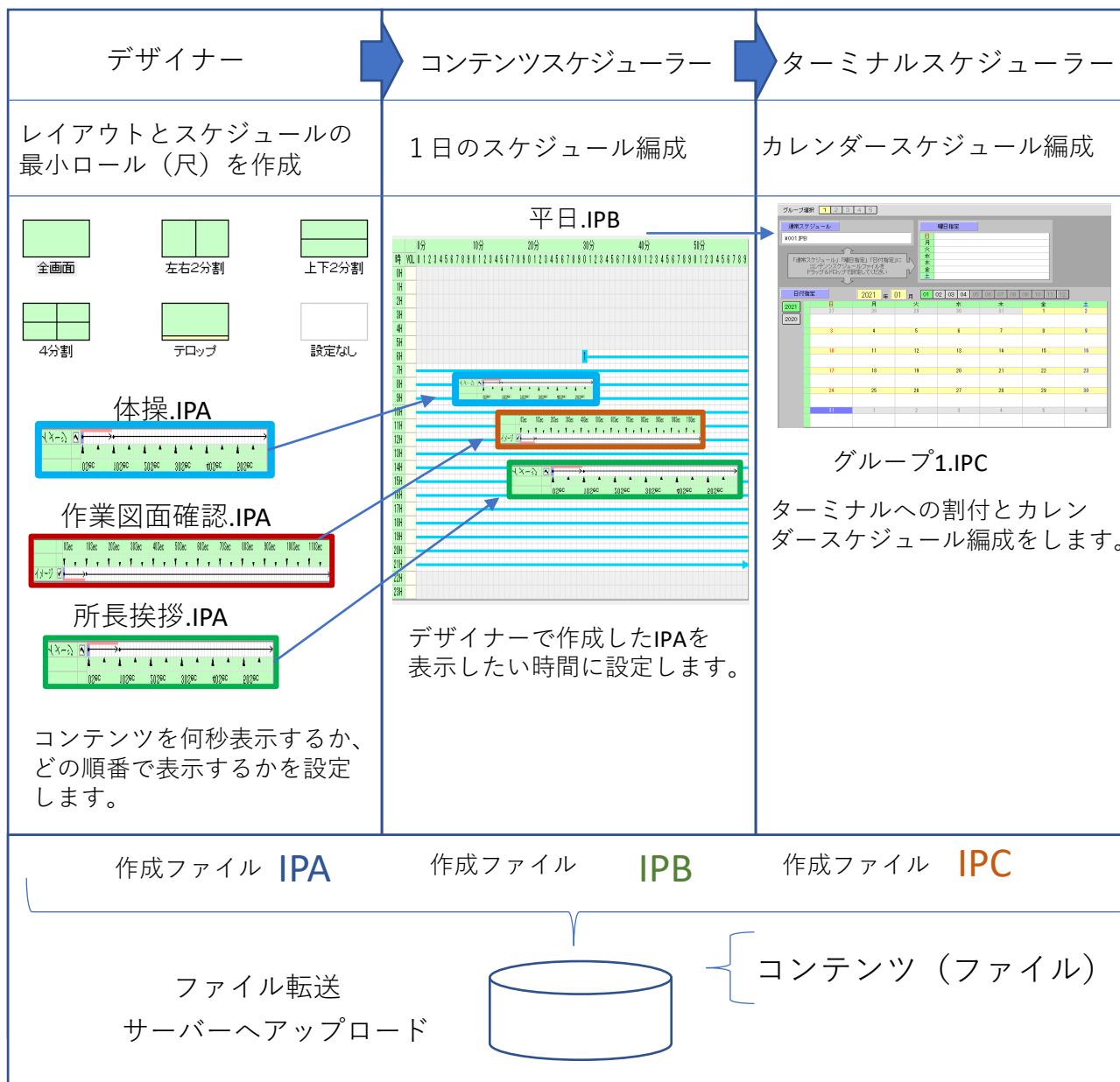
スタートメニューから



□ ネットワークフォルダーはスケジューラーでの設定と同じフォルダーを指定します。（フォルダーは必須です。フォルダー名は任意です）。それぞれのターミナルに番号を設定します。

IP_STUDIOオペレーションフロー

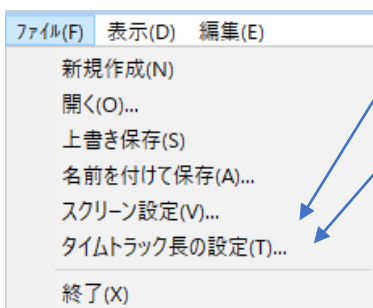
IP_STUDIOは効率よくコンテンツ配信を行えるように下記のモジュールで構成されています。オペレーションフローの手順で配信ができます。



予め配信・表示するコンテンツの準備をして下さい。



デザイナー メニュー・コマンドの説明

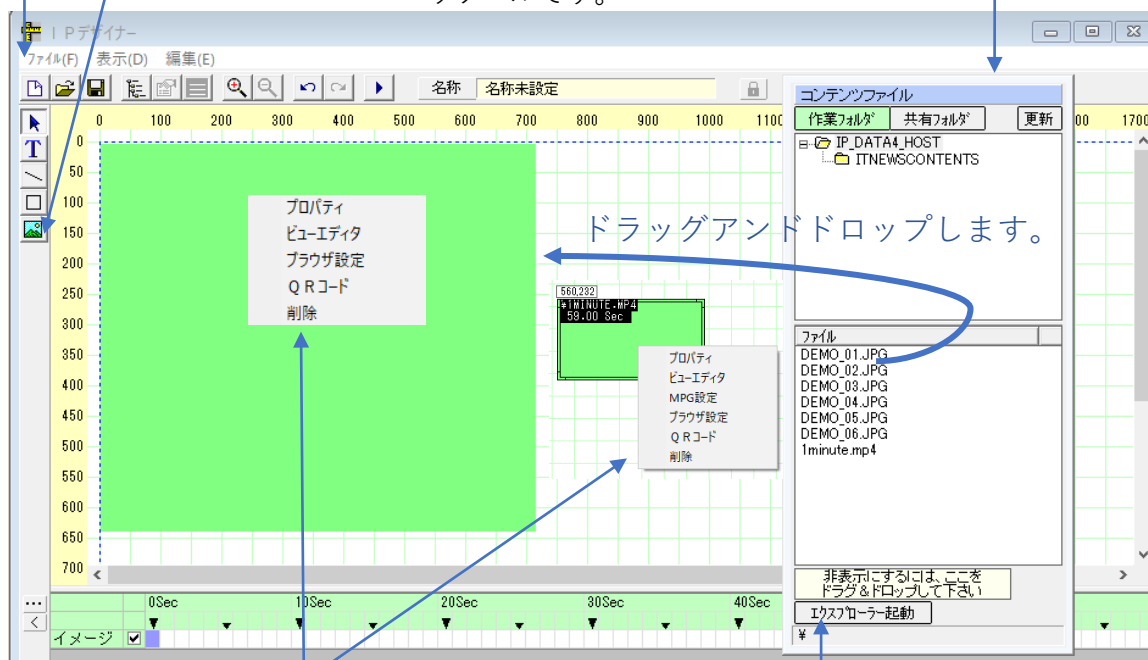


：サイネージの解像度を指定
 ：トラック（ロールの尺）の設定

：コンテンツファイルは実際に配信するコンテンツを格納します。

：共有フォルダーはクラウド、ネットワーク上のコンテンツを格納しているところです。

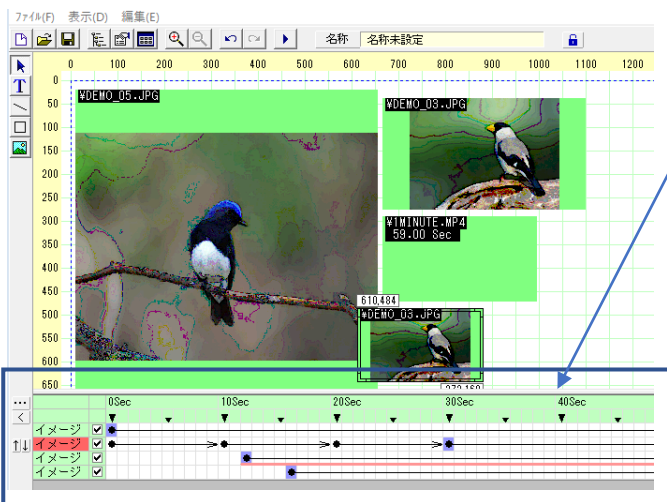
イメージツール：画像のスクリーン上にレイアウトする時に使います。デザイナーでは一番使うツールです。



ドラッグアンドドロップします。

プロパティツール：マウスの右クリックで表示
 プロパティ：画像のサイズを設定
 ビューエディタ：簡単操作の編成ツール
 ブラウザ設定：WEBブラウザの設定ツール
 QRコード：QRコード生成ツール
 動画のときはMPEG設定（音量設定ができます）

Windowsのエクスプローラを起動させてコンテンツの詳細などを確認できます。



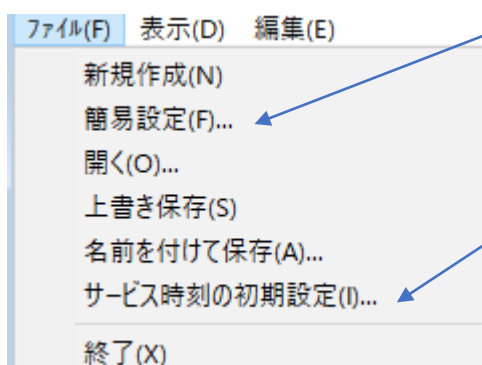
タイムラインはレイヤーを見ながら設定

- ・画像をどのタイミングで表示するか
- ・画像の重ね合わせ
- ・表示、非表示

ビューエディターの起動

メニューからできます

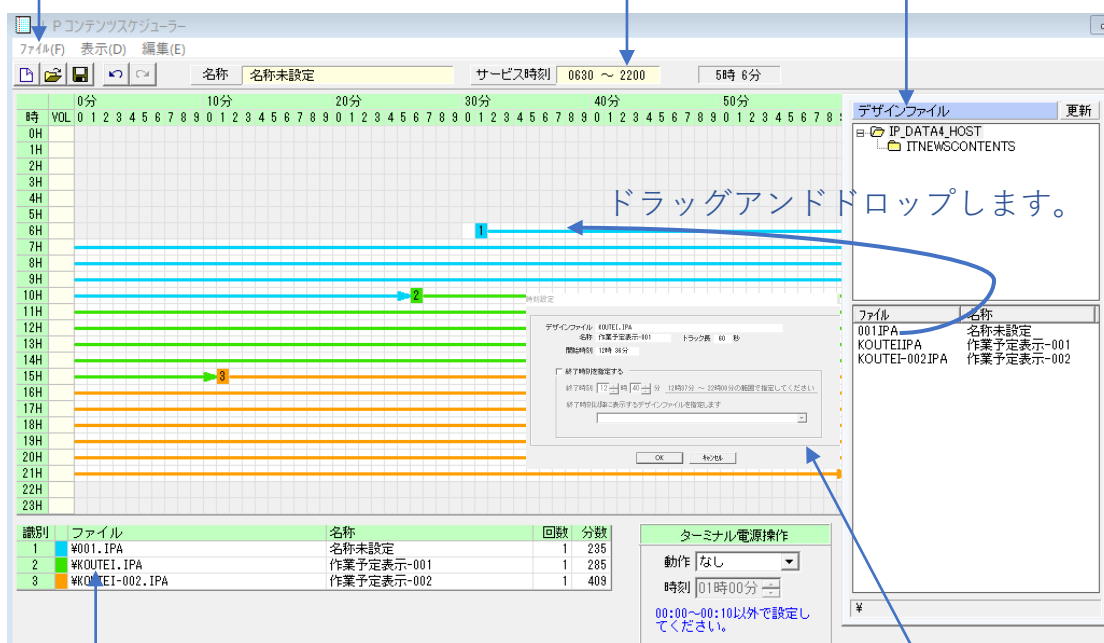
コンテンツスケジューラー メニュー・コマンドの説明



簡易設定：指定時間内でロール（IPA）を繰り返して表示する時に便利な機能

：デジタルサイネージのコンテンツ表示時間です。

デザインファイル：デザイナーで作成したロール（IPA）です。ここからドラッグアンドドロップします。



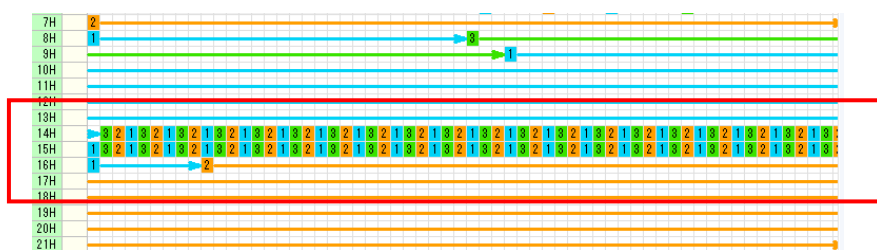
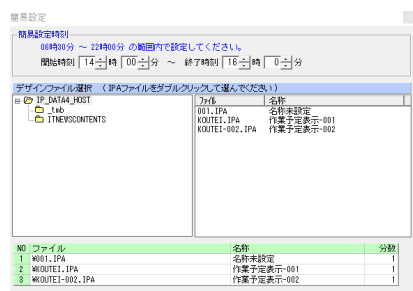
ドラッグアンドドロップします。

識別ファイルリスト：スケジュールされたIPAのファイル名、名称、表示回数、表示時間が確認できます。ファイル名をクリックすることでIPAをデザイナーで確認できます。

IPAをドラッグアンドドロップするときには終了時間と次のIPAを指定できます。次のIPA指定は省略できます。

STB（サイネージ）のシャットダウン、再起動時刻を指定できます。

簡易設定：面倒な設定がワンタッチでできます。



ターミナルスケジューラー メニュー・コマンドの説明

ファイル：上書き操作は行いません。ドラッグアンドドロップで自動で上書きします。

グループ選択：配信するサイネージのグループを選択します。

曜日指定；指定した曜日で表示されます。

コンテンツスケジュールで作成したファイルが格納されています。ここからドラッグアンドドロップします。

通常スケジュール：曜日、特定日をしてしてない場合はこのIPBが毎日表示されます。

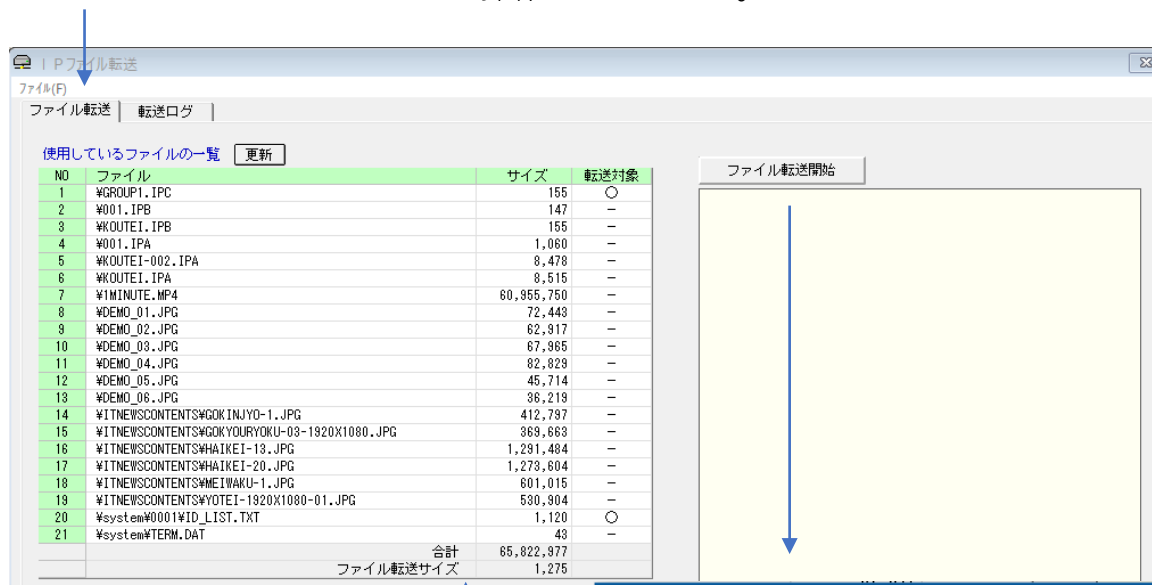
曜日指定；その月の指定した曜日で表示されます。
日付指定：指定した日だけ表示されます。

グループの選択はターミナルで設定したグループに配信するための選択です。

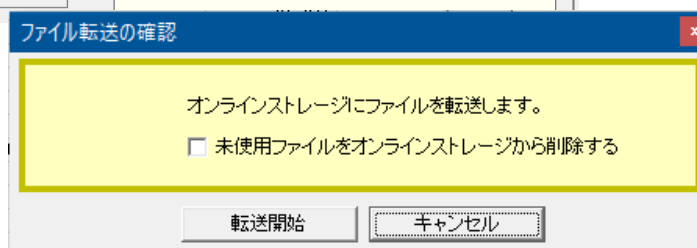
グループ選択

ファイル転送 メニュー・コマンドの説明

ファイル：ファイルからコマンド操作はありません。

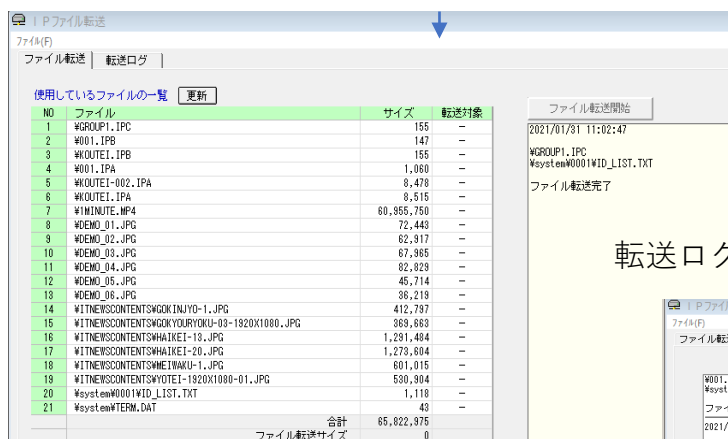


転送はすでに一度行われている場合は
[-] が表示されます。

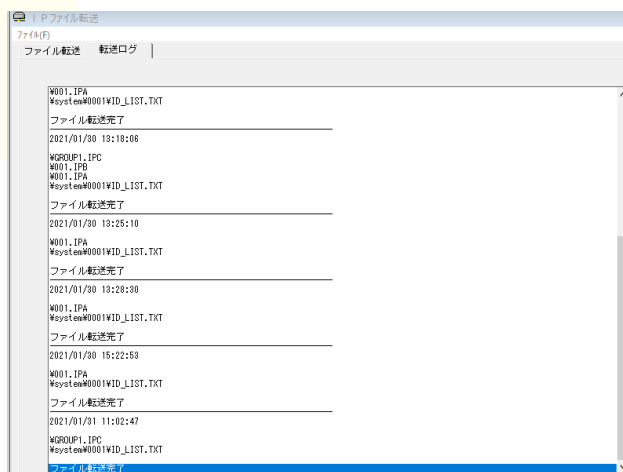


ファイル転送の確認：
□にチェックを入れると未使用の
ファイルが削除されます。

転送が正常に完了すると [○] が [-] になります。

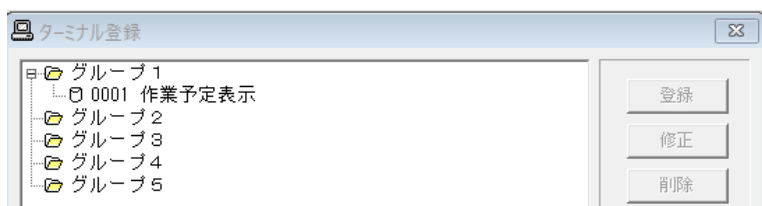


転送ログボタンで転送のログ情報が確認できます。

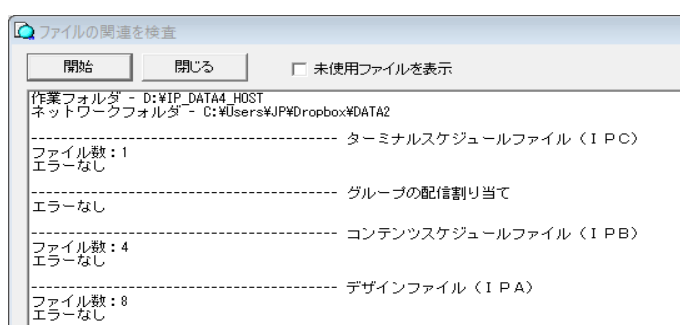


メンテナンス メニュー・コマンドの説明

ターミナル登録：サイネージのグループを指定します。



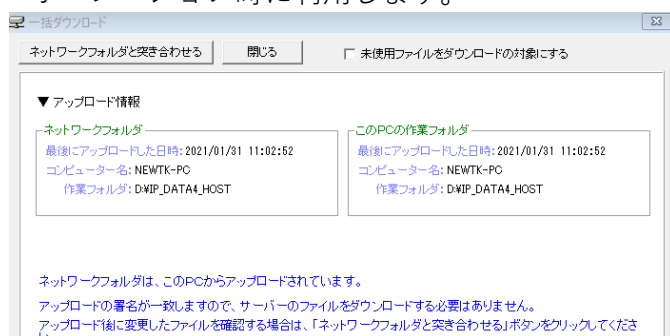
ファイルの関連を検査：
ファイルの関連チェックを行います。
ファイルがありませんなどのエラーが出た時に利用できます。



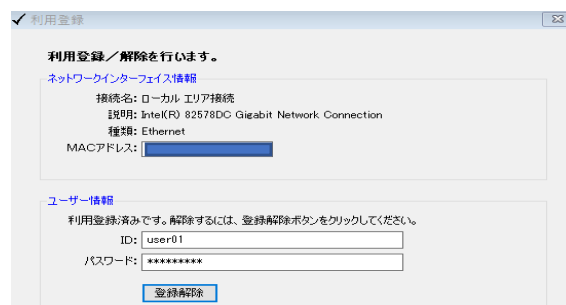
バージョン情報：IP_STUDIOのソフトウェアバージョンを確認できます。

NO	ファイル名	サイズ	ファイル日時	バージョン
1	ips4_AUTH.exe	39,424	2019/09/29 00:23:52	1.0.0.0
2	ips4_IPA.exe	830,160	2021/01/12 18:04:06	8.1.0.1
3	ips4_IPB.exe	372,736	2021/01/30 14:34:58	8.0.0.0
4	ips4_IPC.exe	184,320	2020/07/31 17:19:22	8.0.0.0
5	ips4_IPLOG.exe	86,016	2021/01/07 11:14:36	8.0.0.0
6	ips4_IPMAIN.exe	282,144	2021/01/26 10:25:32	8.0.0.0
7	ips4_IPMENT.exe	245,760	2021/01/30 14:58:16	8.1.0.0
8	ips4_IPMONI.exe	196,608	2019/12/30 15:57:20	8.0.0.0
9	ips4_IPLOAD.exe	208,896	2021/01/24 10:51:04	8.1.0.0
10	ips4_New.exe	106,496	2019/07/31 00:19:48	1.0.0.0
11	ips4_OR.exe	166,400	2019/07/31 22:35:52	1.0.0.0
12	ips4_SET.exe	73,728	2021/01/26 10:05:20	8.0.0.0
13	dunplusserc.exe	69,632	2005/10/15 18:41:14	1.10.112.0
14	unins000.exe	722,342	2021/01/10 16:27:48	51.52.0.0
15	DotNetBarcode.dll	81,920	2006/10/16 18:15:58	
16	HwRemove.dll	73,728	2005/06/25 00:33:42	
17	compenc.dll	139,264	2002/03/20 11:34:44	

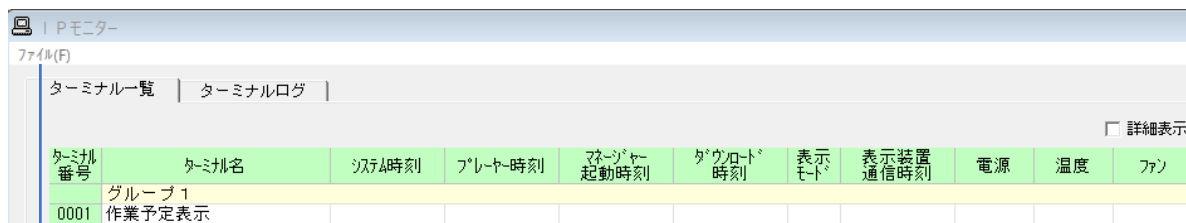
一括ダウンロード：複数PCでの
オペレーション時に利用します。



利用登録：IP_STUDIO利用時に最初に登録します。

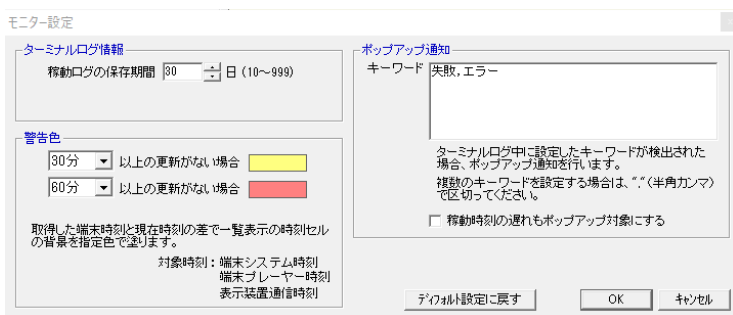
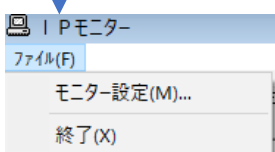


モニター メニュー・コマンドの説明

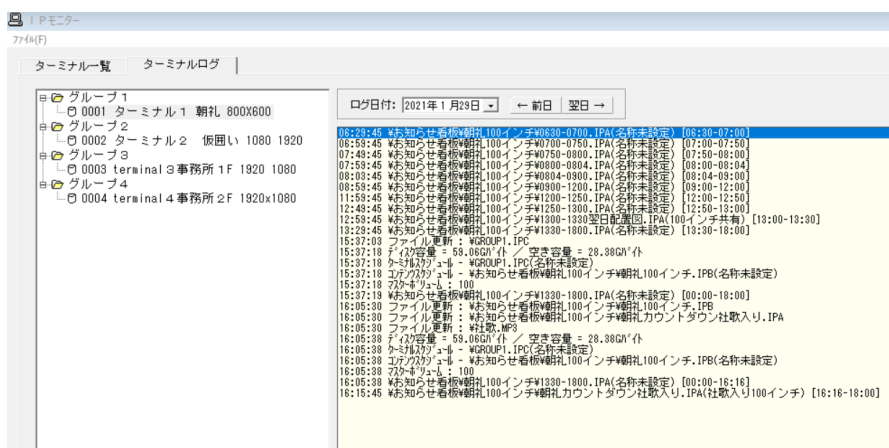


ターミナル一覧：
稼働中のサイネージの状況をモニターします。
システム時刻：STBの時刻
プレイヤー時刻：IP_STUDIOプレイヤーの時刻
などが確認できます。

モニター設定：
ログの保存期間とエラーの警告の色を指定できます。



ターミナルログ：
のサイネージの日別稼働状況を確認できます。



□IP_STUDIOに関するお問い合わせ
アイティニュース株式会社 デジタルサイネージ（事）
TEL 047-381-5035 メール：new@itnews.co.jp まで